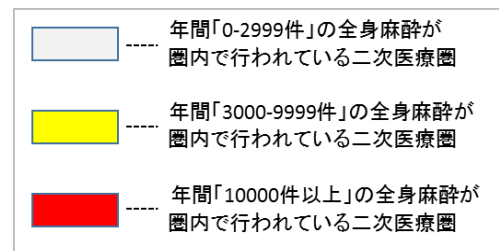
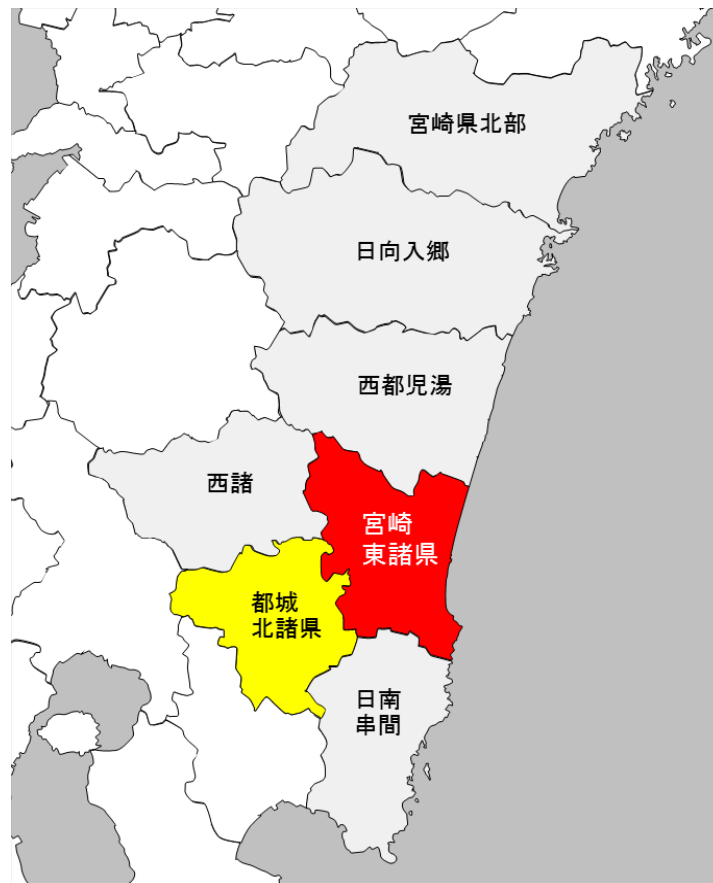


# 45. 宮崎県

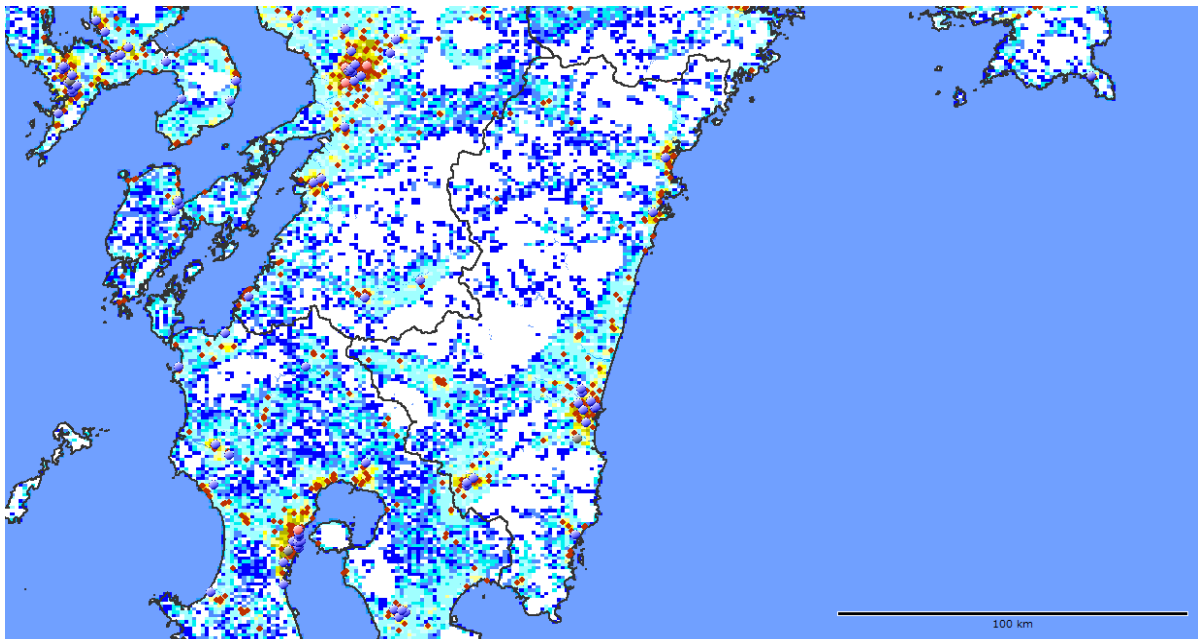


目次

宮崎県	45	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	45	-	8
1. 宮崎東諸県医療圏	45	-	20
2. 都城北諸県医療圏	45	-	25
3. 延岡西臼杵医療圏	45	-	30
4. 日南串間医療圏	45	-	35
5. 西諸医療圏	45	-	40
6. 西都児湯医療圏	45	-	45
7. 日向入郷医療圏	45	-	50

# 45. 宮崎県

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

## （宮崎県） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 宮崎県は、総人口約1107千人（2015年推計）、面積7736km<sup>2</sup>、人口密度は143人/km<sup>2</sup>である。

**\*人口の将来予測：** 宮崎県の総人口は2025年に1034千人へと減少し（2015年比－7%）、2040年に901千人へと減少する（2025年比－13%）ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の173千人が、2025年にかけて205千人へと増加し（2015年比＋18%）、2040年には213千人へと増加する（2025年比＋4%）ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 宮崎県の一人当たり医療費（国保）は336千円（偏差値54）、介護給付費は276千円（偏差値56）であり、医療費はやや高く、介護給付費は高い。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 宮崎県の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.12、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.46で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は充実している。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が49（病院医師数50、診療所医師数48）と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は67と非常に多い。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は57で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は49と全国平均レベルである。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は54と療養病床数はやや多い。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値53とやや多く、回復期病床数は偏差値55とやや多い。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は62で精神病床数は多い。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は51で診療所数は全国平均レベルである。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 宮崎県の総高齢者施設・住宅定員数（介護療養病床含む）合計は、15020人（75歳以上1000人当たりの偏差値43）と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が9922床（偏差値48）、高齢者住宅等が5098床（偏差値43）である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員（介護施設等）の合計は、13009人（75歳以上1000人当たりの偏差値49）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設44、特別養護老人ホーム49、介護療養型医療施設55、有料老人ホーム45、軽費ホーム51、グループホーム54、サ高住40である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値45とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値55とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値50と全国平均レベルである。介護職員（在宅）の合計は、2516人（75歳以上1000人当たりの偏差値52）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

**\*介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は－24%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

宮崎県の総人口は、2005年1153042人が、2015年に1107322人と4%減少し、2025年の人口が1033671人と予測され、2005年→2025年の間に10%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に8%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の増加が予測される。

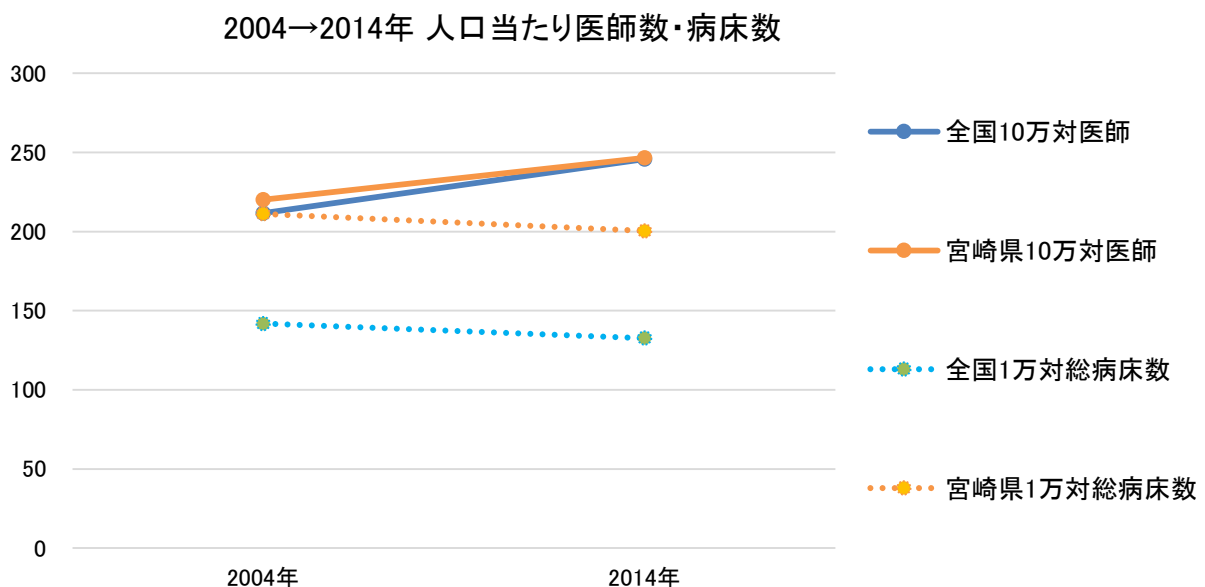
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が149(人口10万人当たり12.9病院(全国平均7.1)偏差値65)であったが、2014年に140(人口10万人当たり12.6病院(全国平均6.7)偏差値64)となり、10年間で9病院が減少した。

2004年の診療所数が896(人口10万人当たり78診療所(全国平均76)偏差値51)であったが、2014年に891(人口10万人当たり80診療所(全国平均79)偏差値51)と、5診療所が減少した。

2004年の総病床数が24356床(人口1万人当たり211(全国平均142)偏差値62)であったが、2014年に22189床(人口1万人当たり200(全国平均133)偏差値62)と、2167床の減少、率にして9%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

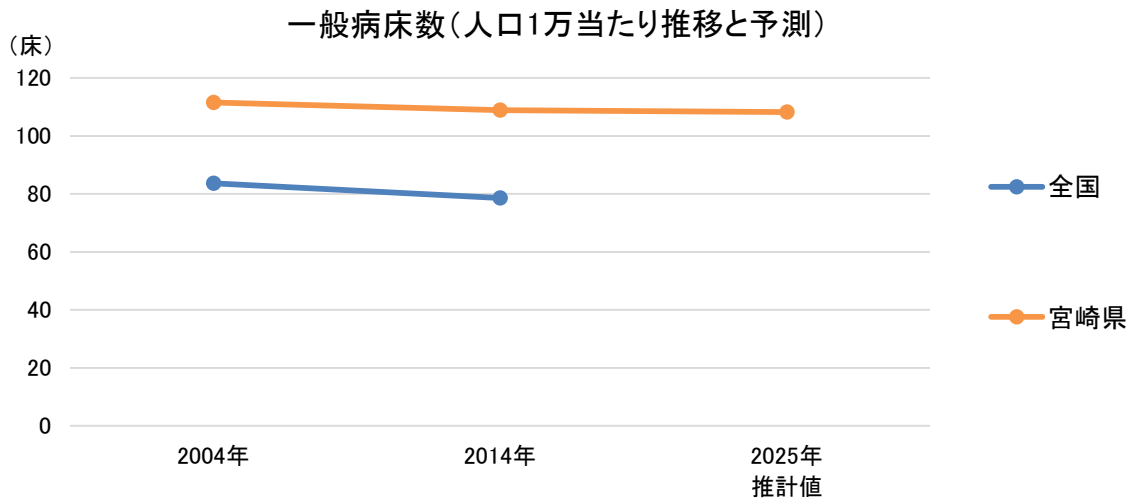
2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が2538人(人口10万人当たり220人(全国平均212人)偏差値51)であったが、2014年に2730人(人口10万人当たり247人(全国平均246人)偏差値50)と、192人の増加、率にして8%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



## 45. 宮崎県（2016年版）

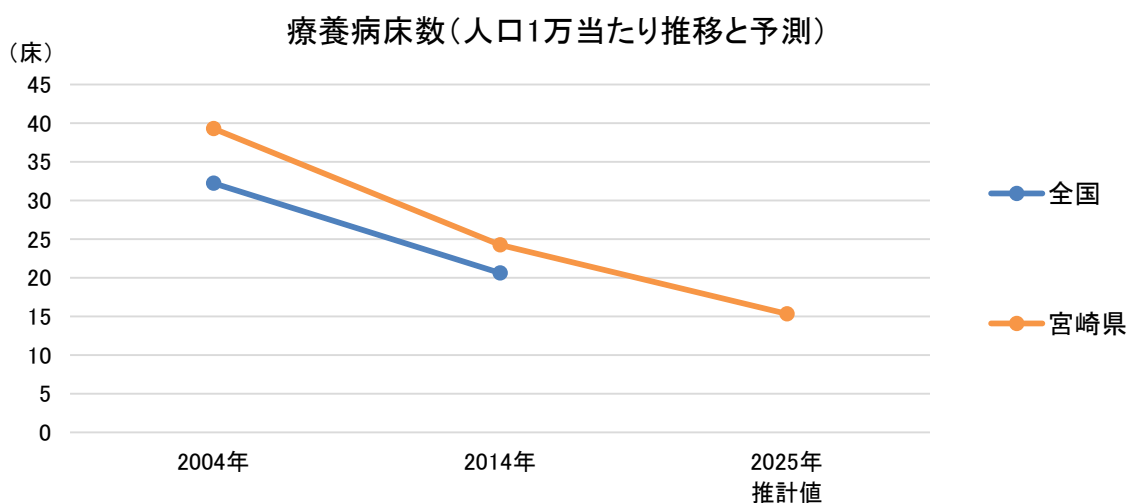
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が12854床(人口1万人当たり111(全国平均84)偏差値60)であったが、2014年に12058床(人口1万人当たり109(全国平均79)偏差値61)と、796床の減少、率にして6%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には11183床(2025年の推計人口1万人当たり108)になることが予想される。



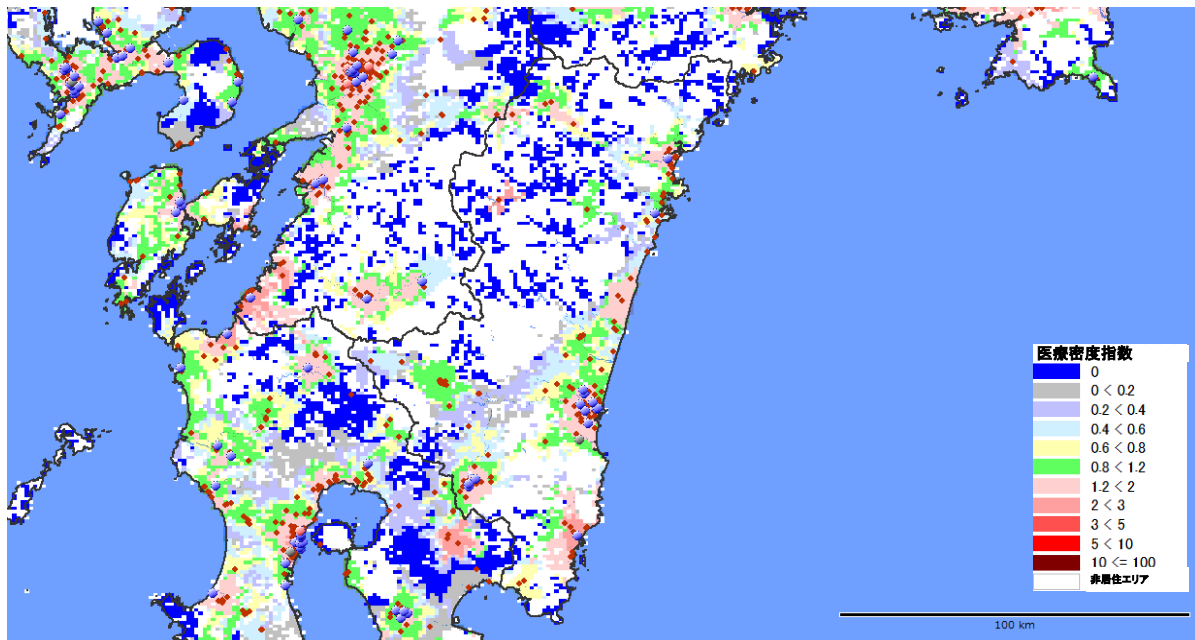
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が5134床(75歳以上1000人当たり39(全国平均32)偏差値54)であったが、2014年に4185床(75歳以上1000人当たり24(全国平均21)偏差値53)と、949床の減少、率にして18%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には3142床(2025年の推計75歳以上1000人当たり15)になることが予想される。

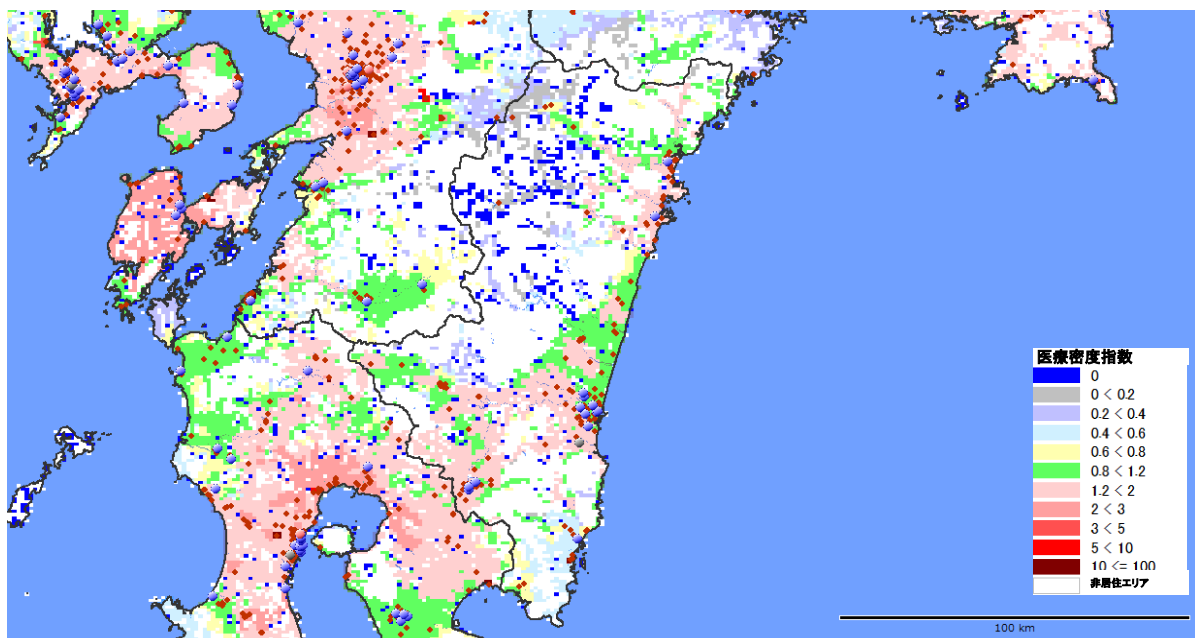


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表45-1 急性期医療密度指数マップ



図表45-2 慢性期医療密度指数マップ



45. 宮崎県（2016年版）

資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料<sup>6</sup>

資\_図表 45-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	126,661		372,903		339.7		27%	120,700	107,439	16,459	21,775	22,232	-5%	-11%	32%	2%
宮崎県	1,107	36位	7,736	14位	143.1		30%	1,034	901	173	205	213	-7%	-13%	18%	4%
宮崎東諸県	427	39%	871	11%	491.1	地方都市型	26%	413	375	55	75	84	-3%	-9%	36%	12%
都城北諸県	191	17%	763	10%	249.7	地方都市型	29%	180	161	29	33	34	-6%	-11%	14%	3%
延岡西臼杵	147	13%	1,555	20%	94.5	過疎地域型	32%	132	109	26	29	27	-10%	-17%	12%	-7%
日南串間	73	7%	831	11%	88.1	過疎地域型	36%	64	50	15	15	14	-12%	-22%	0%	-7%
西諸	76	7%	931	12%	81.4	過疎地域型	35%	67	55	16	16	16	-12%	-18%	0%	0%
西都児湯	103	9%	1,154	15%	89.0	過疎地域型	31%	94	78	17	20	19	-9%	-17%	18%	-5%
日向入郷	91	8%	1,630	21%	55.5	過疎地域型	31%	84	72	15	17	17	-8%	-14%	13%	0%

出典 <人口(2015年、2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月  
<面積>都道府県・市区町村別主要統計表 総務省統計局 平成22年

資\_図表 45-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度指数 (%)	
			2025年	2040年
全国	1.00	1.00	-26.7%	-27.2%
宮崎県	1.12	1.46	-19.3%	-23.7%
宮崎東諸県	1.31	1.46	-42.8%	-60.9%
都城北諸県	1.10	1.79	-23.9%	-29.0%
延岡西臼杵	1.06	2.06	-14.7%	-9.3%
日南串間	1.58	1.58	-8.5%	-0.6%
西諸	0.72	1.23	-0.3%	1.3%
西都児湯	0.87	1.51	-25.0%	-21.0%
日向入郷	0.64	1.99	-14.1%	-14.8%

出典 <一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。  
<75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2016年の全国平均(99.3床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。



資\_図表 45-3 医療費、介護給付費<sup>7</sup>

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	319	(41)	1.000	254	(37)
宮崎県	336	54	1.011	276	56
宮崎東諸県	340	55	1.032	268	54
都城北諸県	339	55	1.041	296	61
延岡西臼杵	313	49	1.011	285	59
日南串間	317	50	1.002	285	58
西諸	404	71	1.184	302	63
西都児湯	348	57	1.072	256	51
日向入郷	370	62	1.120	246	48
出典	<一人あたり医療費>平成25年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成26年度介護保険事業状況報告(年報) 平成26年度累計(平成26年3月サービス分から平成27年2月サービス分まで)				

資\_図表 45-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,493		6.7	(4.1)	100,461		79	(19.5)
宮崎県	140	1.6%	12.6	64	891	0.9%	80	51
宮崎東諸県	41	29%	9.6	57	399	45%	93	57
都城北諸県	28	20%	14.7	69	133	15%	70	45
延岡西臼杵	20	14%	13.6	67	95	11%	65	42
日南串間	12	9%	16.4	74	65	7%	89	55
西諸	16	11%	21.1	85	58	7%	77	49
西都児湯	10	7%	9.7	57	81	9%	79	50
日向入郷	13	9%	14.4	69	60	7%	66	43
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 45-5 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	100,461		79	(19.5)	92,106		73	(19.0)	8,355		6.6	(6.6)
宮崎県	891	0.9%	80	51	708	0.8%	64	45	183	2.2%	16.5	65
宮崎東諸県	399	45%	93	57	327	46%	76	52	72	39%	16.8	65
都城北諸県	133	15%	70	45	88	12%	46	36	45	25%	23.6	76
延岡西臼杵	95	11%	65	42	75	11%	51	39	20	11%	13.6	61
日南串間	65	7%	89	55	56	8%	76	52	9	5%	12.3	59
西諸	58	7%	77	49	46	6%	61	44	12	7%	15.8	64
西都児湯	81	9%	79	50	70	10%	68	48	11	6%	10.7	56
日向入郷	60	7%	66	43	46	6%	51	38	14	8%	15.5	63
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

45. 宮崎県（2016年版）

資\_図表 45-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院				診療所				病院+診療所			
	総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,568,261		1,238	(503)	112,364		89	(106)	1,680,625		1,327	(565)
宮崎県	19,245	1.2%	1,738	60	2,944	2.6%	266	67	22,189	1.3%	2,004	62
宮崎東諸県	6,563	34%	1,535	56	1,107	38%	259	66	7,670	35%	1,794	58
都城北諸県	3,626	19%	1,902	63	769	26%	403	80	4,395	20%	2,306	67
延岡西臼杵	2,738	14%	1,863	62	318	11%	216	62	3,056	14%	2,079	63
日南串間	1,890	10%	2,580	77	139	5%	190	60	2,029	9%	2,770	76
西諸	1,433	7%	1,891	63	201	7%	265	67	1,634	7%	2,156	65
西都児湯	1,265	7%	1,232	50	168	6%	164	57	1,433	6%	1,395	51
日向入郷	1,730	9%	1,911	63	242	8%	267	67	1,972	9%	2,178	65
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資\_図表 45-7 病院病床数（一般病床、療養病床、精神病床）

二次医療圏	一般病床				療養病床				精神病床			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	894,216		706	(229)	328,144		259	(210)	338,174		267	(219)
宮崎県	9,495	1.1%	857	57	3,804	1.2%	344	54	5,837	1.7%	527	62
宮崎東諸県	3,786	40%	886	58	1,303	34%	305	52	1,391	24%	325	53
都城北諸県	1,816	19%	953	61	390	10%	205	47	1,419	24%	744	72
延岡西臼杵	1,235	13%	840	56	546	14%	371	55	953	16%	648	67
日南串間	794	8%	1,084	66	413	11%	564	64	674	12%	920	80
西諸	588	6%	776	53	410	11%	541	63	431	7%	569	64
西都児湯	779	8%	758	52	327	9%	318	53	155	3%	151	45
日向入郷	497	5%	549	43	415	11%	458	59	814	14%	899	79
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 45-8 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数<sup>8</sup>

二次医療圏	回復期				地域包括			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	ケア病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	70,480		56	(47)	36,025		34	(48)
宮崎県	867	1.2%	78	55	527	1.5%	48	53
宮崎東諸県	256	30%	60	51	180	34%	42	52
都城北諸県	167	19%	88	57	90	17%	47	53
延岡西臼杵	160	18%	109	61	62	12%	42	52
日南串間	41	5%	56	50	50	9%	68	57
西諸	104	12%	137	67	32	6%	42	52
西都児湯	50	6%	49	49	51	10%	50	53
日向入郷	89	10%	98	59	62	12%	68	57
出典	平成26年度病床機能報告				平成28年6月地方厚生局(関東信越厚生局のみ7月公表分)。近畿厚生局は病床数データがないため非掲載。			

資\_図表 45-9 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24%)	9.1%	(23%)
宮崎県	4,748	4,404	175	14,468	5,005	3,683	46.8%	48	4.5%	48
宮崎東諸県	2,216	2,072	0	4,354	1,728	1,296	54.5%	51	0.0%	46
都城北諸県	307	307	0	3,370	1,557	390	16.5%	35	0.0%	46
延岡西臼杵	684	602	78	2,050	569	528	51.4%	50	12.9%	52
日南串間	731	722	0	1,159	72	413	90.9%	66	0.0%	46
西諸	253	249	0	1,180	339	410	42.3%	46	0.0%	46
西都児湯	264	260	0	920	438	327	37.2%	44	0.0%	46
日向入郷	293	192	97	1,435	302	319	38.9%	45	23.3%	56
出典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計(一部、ウェルネス独自調査含む) 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。									

資\_図表 45-10 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔件数				分娩件数			
	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	2,818,920		2,226	(1,063)	1,022,592		807	(286)
宮崎県	22,944	0.8%	2,072	49	11,280	1.1%	1,019	57
宮崎東諸県	12,264	53%	2,869	56	5,184	46%	1,213	64
都城北諸県	6,672	29%	3,500	62	2,436	22%	1,278	66
延岡西臼杵	1,716	7%	1,168	40	1,416	13%	963	55
日南串間	672	3%	918	38	804	7%	1,098	60
西諸	720	3%	950	38	396	4%	523	40
西都児湯	312	1%	304	32	312	3%	304	32
日向入郷	588	3%	649	35	732	6%	809	50
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 45-11 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数				病院医師数				診療所医師数			
	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	340,791		269	(92)	210,112		166	(67)	130,678		103	(33)
宮崎県	2,907	0.9%	263	49	1,839	0.9%	166	50	1,069	0.8%	96	48
宮崎東諸県	1,511	52%	353	59	983	53%	230	60	527	49%	123	56
都城北諸県	424	15%	222	45	276	15%	145	47	148	14%	77	42
延岡西臼杵	285	10%	194	42	170	9%	116	42	115	11%	78	42
日南串間	185	6%	252	48	123	7%	168	50	62	6%	84	44
西諸	167	6%	221	45	94	5%	124	44	74	7%	97	48
西都児湯	167	6%	162	38	87	5%	84	38	80	8%	78	42
日向入郷	169	6%	187	41	106	6%	117	43	64	6%	70	40
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

45. 宮崎県 (2016年版)

資\_図表 45-12 専門医数 (総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科				小児科				産婦人科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	15,664		12.4	(6.7)	12,494		9.9	(4.6)	10,443		8.2	(3.8)
宮崎県	119	0.8%	10.7	48	88	0.7%	7.9	46	96	0.9%	8.7	51
宮崎東諸県	86	72%	20.1	61	52	59%	12.2	55	57	59%	13.3	63
都城北諸県	11	9%	5.8	40	10	11%	5.2	40	10	10%	5.2	42
延岡西臼杵	7	6%	4.8	39	8	9%	5.4	40	12	13%	8.2	50
日南串間	6	5%	8.2	44	6	7%	8.2	46	7	7%	9.6	53
西諸	1	1%	1.3	34	3	3%	4.0	37	3	3%	4.0	39
西都児湯	3	3%	2.9	36	6	7%	5.8	41	2	2%	1.9	34
日向入郷	5	4%	5.5	40	3	3%	3.3	36	5	5%	5.5	43
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 45-13 専門医数 (皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科				眼科				耳鼻咽喉科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,278		4.2	(2.1)	9,392		7.4	(3.2)	7,466		5.9	(2.6)
宮崎県	38	0.7%	3.4	47	80	0.9%	7.2	49	53	0.7%	4.8	46
宮崎東諸県	24	63%	5.6	57	42	53%	9.8	58	32	60%	7.5	56
都城北諸県	4	11%	2.1	40	15	19%	7.9	51	6	11%	3.1	40
延岡西臼杵	3	8%	2.0	40	5	6%	3.4	38	6	11%	4.1	43
日南串間	3	8%	4.1	50	6	8%	8.2	52	3	6%	4.1	43
西諸	1	3%	1.3	37	6	8%	7.9	52	2	4%	2.6	38
西都児湯	0	0%	0	30	2	3%	1.9	33	2	4%	1.9	35
日向入郷	3	8%	3.3	46	4	5%	4.4	41	2	4%	2.2	36
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 45-14 専門医数 (精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	8,293		6.5	(3.5)	20,395		16.1	(7.2)	15,369		12.1	(4.5)
宮崎県	108	1.3%	9.8	59	194	1.0%	17.5	52	175	1.1%	15.8	58
宮崎東諸県	67	62%	15.7	76	116	60%	27.1	65	90	51%	21.1	70
都城北諸県	7	6%	3.7	42	27	14%	14.2	47	22	13%	11.5	49
延岡西臼杵	12	11%	8.2	55	22	11%	15.0	48	18	10%	12.2	50
日南串間	4	4%	5.5	47	10	5%	13.7	47	10	6%	13.7	53
西諸	7	6%	9.2	58	5	3%	6.6	37	14	8%	18.5	64
西都児湯	3	3%	2.9	40	5	3%	4.9	34	10	6%	9.7	45
日向入郷	8	7%	8.8	56	9	5%	9.9	41	11	6%	12.2	50
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 45-15 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,711		4.5	(2.1)	6,376		5.0	(2.4)	5,300		4.2	(3.0)
宮崎県	52	0.9%	4.7	51	53	0.8%	4.8	49	68	1.3%	6.1	57
宮崎東諸県	26	50%	6.1	58	27	51%	6.3	55	52	76%	12.2	77
都城北諸県	11	21%	5.8	56	10	19%	5.2	51	6	9%	3.1	47
延岡西臼杵	5	10%	3.4	45	4	8%	2.7	40	3	4%	2.0	43
日南串間	2	4%	2.7	41	3	6%	4.1	46	1	1%	1.4	41
西諸	3	6%	4.0	47	3	6%	4.0	45	0	0%	0	36
西都児湯	2	4%	1.9	38	3	6%	2.9	41	3	4%	2.9	46
日向入郷	3	6%	3.3	44	3	6%	3.3	43	3	4%	3.3	47
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 45-16 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,566		5.2	(3.1)	1,541		1.2	(0.9)	3,291		2.6	(1.7)
宮崎県	71	1.1%	6.4	54	14	0.9%	1.3	51	20	0.6%	1.8	45
宮崎東諸県	44	62%	10.3	67	11	79%	2.6	65	11	55%	2.6	50
都城北諸県	11	15%	5.8	52	0	0%	0	37	2	10%	1.0	41
延岡西臼杵	4	6%	2.7	42	1	7%	0.7	44	3	15%	2.0	47
日南串間	4	6%	5.5	51	1	7%	1.4	52	1	5%	1.4	43
西諸	5	7%	6.6	55	0	0%	0	37	1	5%	1.3	43
西都児湯	0	0%	0	33	1	7%	1.0	47	2	10%	1.9	46
日向入郷	3	4%	3.3	44	0	0%	0	37	0	0%	0	35
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 45-17 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科				リハビリテーション科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,984		1.6	(1.2)	2,370		1.9	(1.3)
宮崎県	14	0.7%	1.3	48	33	1.4%	3.0	58
宮崎東諸県	8	57%	1.9	53	18	55%	4.2	68
都城北諸県	3	21%	1.6	50	5	15%	2.6	56
延岡西臼杵	0	0%	0	37	6	18%	4.1	67
日南串間	1	7%	1.4	48	1	3%	1.4	46
西諸	0	0%	0	37	3	9%	4.0	66
西都児湯	2	14%	1.9	53	0	0%	0	36
日向入郷	0	0%	0	37	0	0%	0	36
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月							

45. 宮崎県 (2016年版)

資\_図表 45-18 看護師数 (総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,100,601		869	(289)	903,500		713	(241)	197,102		156	(74)
宮崎県	14,973	1.4%	1,352	67	11,166	1.2%	1,008	62	3,807	1.9%	344	75
宮崎東諸県	6,010	40%	1,406	69	4,412	40%	1,032	63	1,598	42%	374	79
都城北諸県	2,901	19%	1,522	73	2,147	19%	1,127	67	754	20%	395	82
延岡西臼杵	1,999	13%	1,360	67	1,463	13%	995	62	536	14%	365	78
日南串間	1,043	7%	1,424	69	852	8%	1,163	69	191	5%	260	64
西諸	1,023	7%	1,350	67	781	7%	1,030	63	242	6%	320	72
西都児湯	804	5%	783	47	602	5%	586	45	202	5%	197	56
日向入郷	1,194	8%	1,318	66	909	8%	1,004	62	284	7%	314	71
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 45-19 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	119,431		94	(52)	288,151		227	(98)
宮崎県	1,219	1.0%	110	53	2,034	0.7%	184	46
宮崎東諸県	493	40%	115	54	974	48%	228	50
都城北諸県	208	17%	109	53	317	16%	166	44
延岡西臼杵	160	13%	109	53	259	13%	176	45
日南串間	80	7%	109	53	117	6%	160	43
西諸	91	7%	120	55	123	6%	162	43
西都児湯	87	7%	85	48	102	5%	99	37
日向入郷	100	8%	110	53	142	7%	157	43
出典	平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月			

資\_図表 45-20 在宅医療施設数 (在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,679		0.9	(0.5)	1,120		0.1	(0.1)	9,602		0.6	(0.2)
宮崎県	113	0.8%	0.7	45	17	1.5%	0.1	55	102	1.1%	0.6	50
宮崎東諸県	65	58%	1.2	56	6	35%	0.1	56	43	42%	0.8	61
都城北諸県	12	11%	0.4	40	3	18%	0.1	55	18	18%	0.6	52
延岡西臼杵	11	10%	0.4	40	2	12%	0.1	51	12	12%	0.5	43
日南串間	5	4%	0.3	38	2	12%	0.1	60	3	3%	0.2	29
西諸	10	9%	0.6	45	2	12%	0.1	59	8	8%	0.5	46
西都児湯	9	8%	0.5	42	1	6%	0.1	49	8	8%	0.5	44
日向入郷	1	1%	0.1	32	1	6%	0.1	50	10	10%	0.7	55
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成28年5月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成28年5月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成28年5月			

資\_図表 45-21 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護保険 施設定員 (病床)数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	高齢者 住宅 定員数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
宮崎県	15,020	0.9%	87	43	9,922	1.0%	58	48	5,098	0.8%	30	43
宮崎東諸県	4,597	31%	83	40	2,876	29%	52	44	1,721	34%	31	44
都城北諸県	2,704	18%	93	46	1,612	16%	55	47	1,092	21%	38	49
延岡西臼杵	2,246	15%	86	42	1,577	16%	61	51	669	13%	26	41
日南串間	1,369	9%	92	45	1,074	11%	72	60	295	6%	20	37
西諸	1,411	9%	91	45	930	9%	60	50	481	9%	31	44
西都児湯	1,413	9%	84	41	1,027	10%	61	51	386	8%	23	39
日向入郷	1,280	9%	86	42	826	8%	56	47	454	9%	31	44
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資\_図表 45-22 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護 老人ホーム (特養) 定員数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護療養 病床数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
宮崎県	3,202	0.9%	19	44	5,660	1.0%	33	49	1,060	1.6%	6.1	55
宮崎東諸県	1,056	33%	19	45	1,514	27%	27	44	306	29%	5.5	53
都城北諸県	463	14%	16	39	1,110	20%	38	54	39	4%	1.3	43
延岡西臼杵	533	17%	20	47	845	15%	32	49	199	19%	7.6	59
日南串間	347	11%	23	52	543	10%	36	53	184	17%	12.3	70
西諸	280	9%	18	43	470	8%	30	47	180	17%	11.6	68
西都児湯	307	10%	18	43	660	12%	39	55	60	6%	3.6	49
日向入郷	216	7%	15	37	518	9%	35	51	92	9%	6.2	55
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 45-23 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	軽費 ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	グループ ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
宮崎県	1,443	0.6%	8.4	45	258	1.1%	1.5	51	2,355	1.2%	13.7	54
宮崎東諸県	563	39%	10.2	47	138	53%	2.5	55	726	31%	13.2	53
都城北諸県	168	12%	5.8	42	60	23%	2.1	53	438	19%	15.0	56
延岡西臼杵	232	16%	8.9	45	0	0%	0	43	269	11%	10.3	48
日南串間	122	8%	8.2	45	0	0%	0	43	97	4%	6.5	41
西諸	86	6%	5.5	42	30	12%	1.9	53	351	15%	22.6	70
西都児湯	83	6%	4.9	42	0	0%	0	43	252	11%	14.9	56
日向入郷	189	13%	12.7	49	30	12%	2.0	53	222	9%	15.0	56
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

45. 宮崎県 (2016年版)

資\_図表 45-24 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住) 定員数

二次医療圏	サ高住(全施設)				サ高住(特定施設)				サ高住(非特定施設)			
	サ高住 (全施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (非特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	212,481		12.9	(6.7)	13,027		0.8	(1.6)	199,454		12.1	(6.3)
宮崎県	1,042	0.5%	6.0	40	0	0.0%	0	45	1,042	0.5%	6.0	40
宮崎東諸県	294	28%	5.3	39	0		0	45	294	28%	5.3	39
都城北諸県	426	41%	14.6	53	0		0	45	426	41%	14.6	54
延岡西臼杵	168	16%	6.4	40	0		0	45	168	16%	6.4	41
日南串間	76	7%	5.1	38	0		0	45	76	7%	5.1	39
西諸	14	1%	0.9	32	0		0	45	14	1%	0.9	32
西都児湯	51	5%	3.0	35	0		0	45	51	5%	3.0	36
日向入郷	13	1%	0.9	32	0		0	45	13	1%	0.9	32
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				平成28年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの			

資\_図表 45-25 介護サービス従事看護師数(介護施設、訪問看護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事看護師数				看護師数(施設)				看護師数(訪問)			
	介護サー ビス従事 看護師数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (訪問)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	160,468		9.7	(2.4)	118,281		7.2	(2.2)	42,186		2.6	(0.8)
宮崎県	1,721	1.1%	10.0	51	1,298	1.1%	7.5	52	422	1.0%	2.4	49
宮崎東諸県	584	34%	10.6	54	373	29%	6.8	48	211	50%	3.8	65
都城北諸県	261	15%	9.0	47	193	15%	6.6	47	68	16%	2.3	47
延岡西臼杵	252	15%	9.7	50	209	16%	8.0	54	42	10%	1.6	39
日南串間	154	9%	10.3	52	142	11%	9.5	61	12	3%	0.8	29
西諸	169	10%	10.8	55	143	11%	9.2	59	26	6%	1.7	39
西都児湯	157	9%	9.3	48	126	10%	7.5	51	31	7%	1.8	41
日向入郷	145	8%	9.7	50	112	9%	7.6	52	33	8%	2.2	46
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 45-26 介護サービス従事介護職員数(介護施設等、在宅介護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数				介護職員数(介護施設等)				介護職員数(在宅)			
	介護サー ビス従事 介護職員 数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (介護施設 等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (在宅)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,482,791		90	(12.3)	1,259,191		77	(11.5)	223,600		13.6	(5.5)
宮崎県	15,525	1.0%	90	50	13,009	1.0%	75	49	2,516	1.1%	14.6	52
宮崎東諸県	5,339	34%	97	55	4,171	32%	76	49	1,169	46%	21.2	64
都城北諸県	2,759	18%	95	54	2,383	18%	82	55	375	15%	12.9	49
延岡西臼杵	2,067	13%	79	41	1,734	13%	67	41	333	13%	12.8	49
日南串間	1,240	8%	83	44	1,055	8%	71	45	185	7%	12.4	48
西諸	1,389	9%	89	49	1,249	10%	80	53	140	6%	9.0	42
西都児湯	1,424	9%	84	45	1,265	10%	75	49	159	6%	9.4	42
日向入郷	1,308	8%	88	48	1,153	9%	78	51	155	6%	10.5	44
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											



資\_図表 45-27 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,072,285		65	(31)	412,167		25	(11)	1,493,642		91	(31)
宮崎県	7,978	0.7%	46	44	2,066	0.5%	12	38	16,154	1.1%	94	51
宮崎東諸県	4,499	56%	82	55	1,101	53%	20	45	8,601	53%	156	71
都城北諸県	777	10%	27	37	326	16%	11	37	2,468	15%	85	48
延岡西臼杵	1,471	18%	56	47	158	8%	6	32	1,766	11%	68	43
日南串間	85	1%	6	31	47	2%	3	30	944	6%	63	41
西諸	695	9%	45	43	206	10%	13	39	830	5%	53	38
西都児湯	348	4%	21	35	103	5%	6	32	574	4%	34	32
日向入郷	103	1%	7	31	125	6%	8	34	971	6%	65	42
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 45-28 総人口の推移と医療需要の増減

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移 (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年 (推計)	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 2015医療 点数増減 率	2015→ 2025医療 点数増減 率	2005→ 2025医療 点数増減 率
全国		127,767,994	126,660,501	-1%	120,699,960	-6%	13%	5%	18%
宮崎県		1,153,042	1,107,322	-4%	1,033,671	-10%	8%	2%	10%
宮崎東諸県	地方都市型	424,763	427,475	1%	413,459	-3%	15%	8%	24%
都城北諸県	地方都市型	195,500	190,603	-3%	180,094	-8%	7%	2%	9%
延岡西臼杵	過疎地域型	159,803	146,979	-8%	132,232	-17%	4%	-2%	1%
日南串間	過疎地域型	83,032	73,242	-12%	63,662	-23%	-1%	-5%	-6%
西諸	過疎地域型	83,522	75,776	-9%	67,147	-20%	2%	-3%	-2%
西都児湯	過疎地域型	111,189	102,714	-8%	93,518	-16%	4%	0%	4%
日向入郷	過疎地域型	95,233	90,533	-5%	83,559	-12%	7%	1%	9%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口,年齢(3区分)・割合,就業者数,昼間人口など) <人口(2015年、2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月								

資\_図表 45-29 病院数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年 推計値
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,493	6.7	(4.1)	-584	-6%	7,882
宮崎県	149	12.9	65	140	12.6	64	-9	-6%	131
宮崎東諸県	41	9.7	57	41	9.6	57	0	0%	41
都城北諸県	30	15.3	71	28	14.7	69	-2	-7%	26
延岡西臼杵	21	13.1	66	20	13.6	67	-1	-5%	19
日南串間	12	14.5	69	12	16.4	74	0	0%	12
西諸	18	21.6	88	16	21.1	85	-2	-11%	14
西都児湯	12	10.8	60	10	9.7	57	-2	-17%	8
日向入郷	15	15.8	72	13	14.4	69	-2	-13%	11
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

45. 宮崎県 (2016年版)

資\_図表 45-30 診療所数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	97,051	76	(20)	100,461	79	(19)	3,410	4%	104,229
宮崎県	896	78	51	891	80	51	-5	-1%	885
宮崎東諸県	387	91	58	399	93	57	12	3%	412
都城北諸県	146	75	49	133	70	45	-13	-9%	119
延岡西臼杵	102	64	44	95	65	42	-7	-7%	87
日南串間	66	79	52	65	89	55	-1	-2%	64
西諸	61	73	49	58	77	49	-3	-5%	55
西都児湯	78	70	47	81	79	50	3	4%	84
日向入郷	56	59	41	60	66	43	4	7%	64
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資\_図表 45-31 医師数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	270,371	212	(84)	311,205	246	(98)	40,834	15%	356,135
宮崎県	2,538	220	51	2,730	247	50	192	8%	2,943
宮崎東諸県	1,303	307	61	1,519	355	61	216	17%	1,757
都城北諸県	357	183	47	364	191	44	7	2%	372
延岡西臼杵	294	184	47	259	176	43	-35	-12%	221
日南串間	166	200	49	158	216	47	-8	-5%	149
西諸	141	169	45	136	179	43	-5	-4%	131
西都児湯	134	121	39	140	136	39	6	4%	147
日向入郷	143	150	43	154	170	42	11	8%	166
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2014年>平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月								

資\_図表 45-32 総病床数(精神科を含む)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	1,812,554	142	(56)	1,680,625	133	(57)	-131,929	-7%	1,535,514
宮崎県	24,356	211	62	22,189	200	62	-2,167	-9%	19,805
宮崎東諸県	8,346	196	60	7,670	179	58	-676	-8%	6,926
都城北諸県	4,793	245	68	4,395	231	67	-398	-8%	3,957
延岡西臼杵	3,297	206	62	3,056	208	63	-241	-7%	2,791
日南串間	2,077	250	69	2,029	277	76	-48	-2%	1,976
西諸	1,709	205	61	1,634	216	65	-75	-4%	1,552
西都児湯	2,056	185	58	1,433	140	51	-623	-30%	748
日向入郷	2,078	218	64	1,972	218	65	-106	-5%	1,855
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資\_図表 45-33 一般病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	人口 1万 当り
全国	1,068,821	84	(28)	995,170	79	(27)	-73,651	-7%	914,162	76
宮崎県	12,854	111	60	12,058	109	61	-796	-6%	11,183	108
宮崎東諸県	5,018	118	62	4,718	110	62	-300	-6%	4,388	106
都城北諸県	2,495	128	66	2,526	133	70	31	1%	2,560	142
延岡西臼杵	1,639	103	57	1,546	105	60	-93	-6%	1,444	109
日南串間	975	117	62	905	124	66	-70	-7%	828	130
西諸	752	90	52	741	98	57	-11	-1%	729	109
西都児湯	985	89	52	883	86	53	-102	-10%	771	82
日向入郷	990	104	57	739	82	51	-251	-25%	463	55
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

資\_図表 45-34 療養病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	75歳以上 1,000人 当り
全国	373,823	32	(18)	339,554	21	(12)	-34,269	-9%	301,883	14
宮崎県	5,134	39	54	4,185	24	53	-949	-18%	3,142	15
宮崎東諸県	1,852	49	60	1,478	27	55	-374	-20%	1,067	14
都城北諸県	852	37	53	449	15	46	-403	-47%	6	0
延岡西臼杵	701	35	51	553	21	51	-148	-21%	390	14
日南串間	419	34	51	441	30	58	22	5%	465	30
西諸	522	42	55	458	29	58	-64	-12%	388	24
西都児湯	518	38	53	391	23	52	-127	-25%	251	13
日向入郷	270	24	45	415	28	56	145	54%	575	33
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

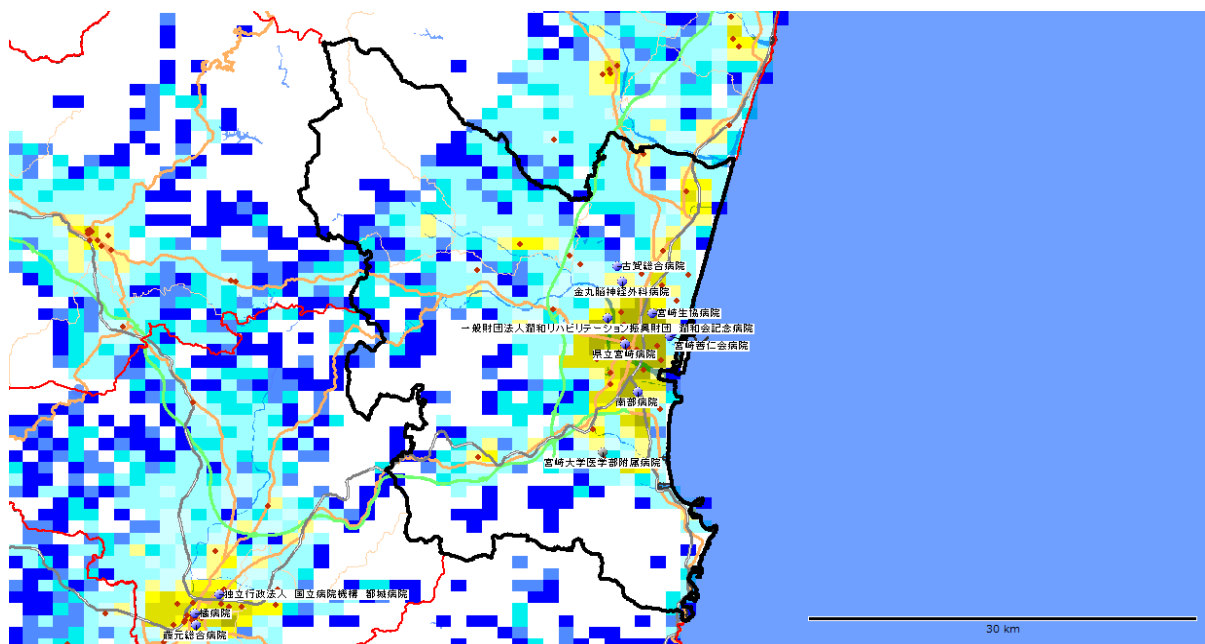
資\_図表 45-35【補足】 市町村国民健康保険 診療種別、1人あたり実績医療費<sup>9</sup>

二次医療圏	医療費総計 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数
宮崎県	347	55	1.056	152	59	1.197	174	48	0.978
宮崎東諸県	324	49	1.016	128	51	1.044	173	48	1.006
都城北諸県	366	59	1.102	170	65	1.331	174	48	0.971
延岡西臼杵	347	55	1.025	161	62	1.226	166	43	0.904
日南串間	408	69	1.170	196	74	1.456	189	57	1.001
西諸	380	62	1.125	169	65	1.293	193	59	1.055
西都児湯	328	50	1.009	143	56	1.135	164	42	0.933
日向入郷	354	56	1.056	161	62	1.241	173	48	0.956
出典	平成26年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

# 45-1. みやざきひがしむろかた 宮崎東諸県医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [宮崎市](#) [国富町](#) [綾町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群  
一般病院

## (宮崎東諸県医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

- \*人口、面積など： 宮崎東諸県(宮崎市)は、総人口約427千人(2015年推計)、面積871km<sup>2</sup>、人口密度は491人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。
- \*人口の将来予測： 宮崎東諸県の総人口は2025年に413千人へと減少し(2015年比-3%)、2040年に375千人へと減少する(2025年比-9%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の55千人が、2025年にかけて75千人へと増加し(2015年比+36%)、2040年には84千人へと増加する(2025年比+12%)ことが予想される。
- \*医療費と介護給付費： 宮崎東諸県の一人当たり医療費(国保)は340千円(偏差値55)、介護給付費は268千円(偏差値54)であり、医療費、介護給付費ともにやや高い。

## 【医療の現状】

- \*入院医療の充実度： 宮崎東諸県の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.31、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.46で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。
- \*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が59(病院医師数60、診療所医師数56)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は69と非常に多い。
- \*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は58で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は56と多い。宮崎東諸県には、年間全身麻酔件数が2000例以上の県立宮崎病院(Ⅲ群・救命)、宮崎大学医学部附属病院(I群・救命)、1000例以上の宮崎善仁会病院(Ⅲ群)、古賀総合病院(Ⅲ群)、500例以上の宮崎市郡医師会病院(Ⅲ群)がある。
- \*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は52と療養病床数は全国平均レベルである。
- \*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値54とやや多く、回復期病床数は偏差値51と全国平均レベルである。
- \*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は53で精神病床数はやや多い。
- \*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は57で診療所数は多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

- \*介護施設の現状： 宮崎東諸県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4597人(75歳以上1000人当たりの偏差値40)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が2876床(偏差値44)、高齢者住宅等が1721床(偏差値44)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、4171人(75歳以上1000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設45、特別養護老人ホーム44、介護療養型医療施設53、有料老人ホーム47、軽費ホーム55、グループホーム53、サ高住39である。

- \*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値56と多く、在宅療養支援病院は偏差値56と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値61と多い。介護職員(在宅)の合計は、1169人(75歳以上1000人当たりの偏差値64)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

- \*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-61%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、非常に多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移と将来推計

## 【人口と医療需要】

宮崎東諸県医療圏の総人口は、2005年424763人が、2015年に427475人と1%増加し、2025年の人口が413459人と予測され、2005年→2025年の間に3%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に15%増加し、2015年から2025年にかけて8%程度の増加が予測される。

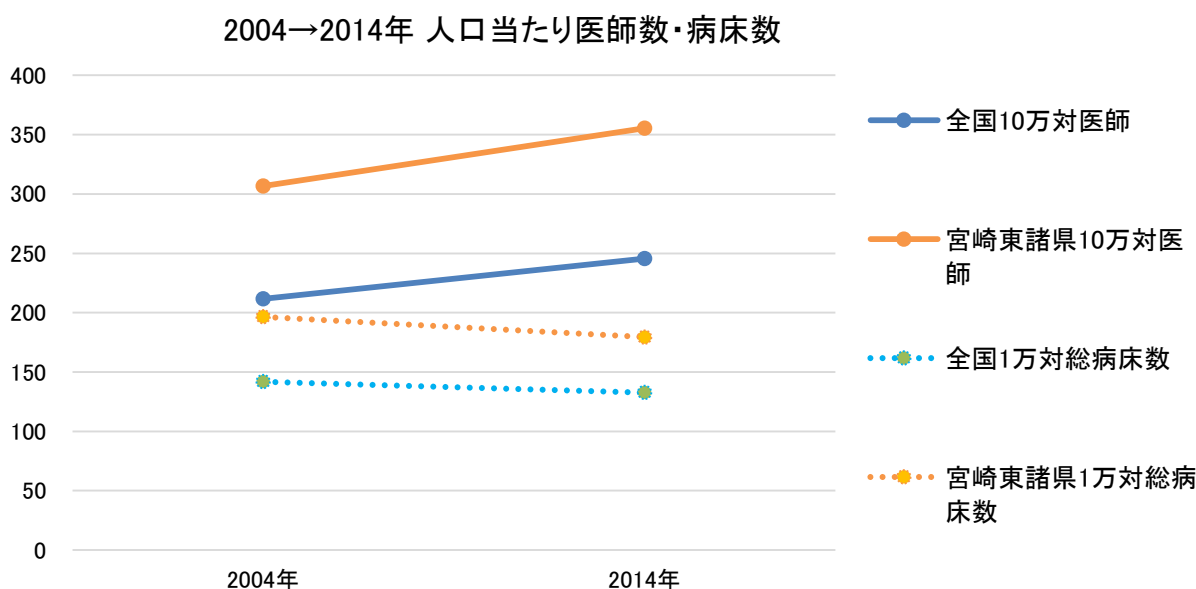
## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が41(人口10万人当たり9.7病院(全国平均7.1)偏差値57)であったが、2014年に41(人口10万人当たり9.6病院(全国平均6.7)偏差値57)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が387(人口10万人当たり91診療所(全国平均76)偏差値58)であったが、2014年に399(人口10万人当たり93診療所(全国平均79)偏差値57)と、12診療所が増加した。

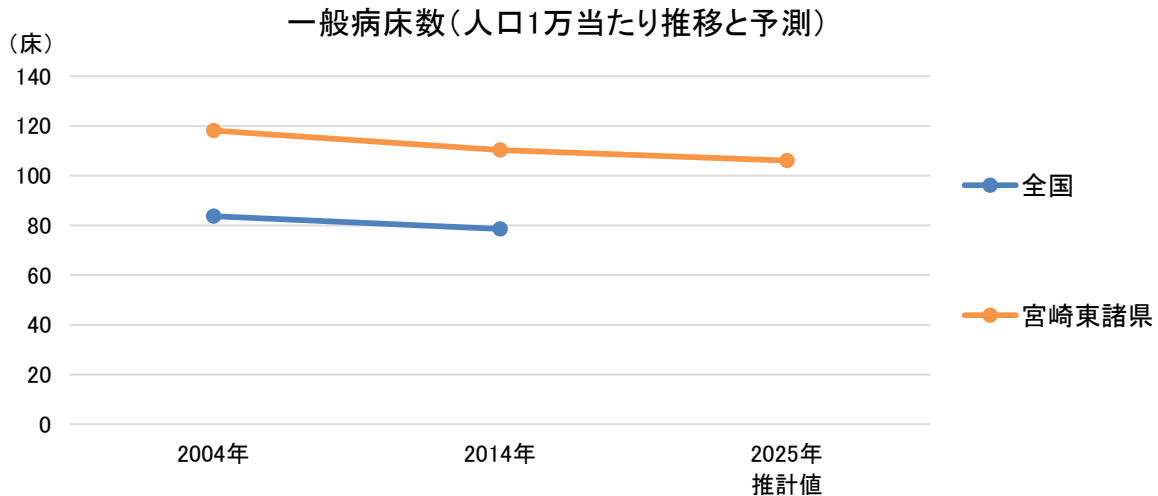
2004年の総病床数が8346床(人口1万人当たり196(全国平均142)偏差値60)であったが、2014年に7670床(人口1万人当たり179(全国平均133)偏差値58)と、676床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が1303人(人口10万人当たり307人(全国平均212人)偏差値61)であったが、2014年に1519人(人口10万人当たり355人(全国平均246人)偏差値61)と、216人の増加、率にして17%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



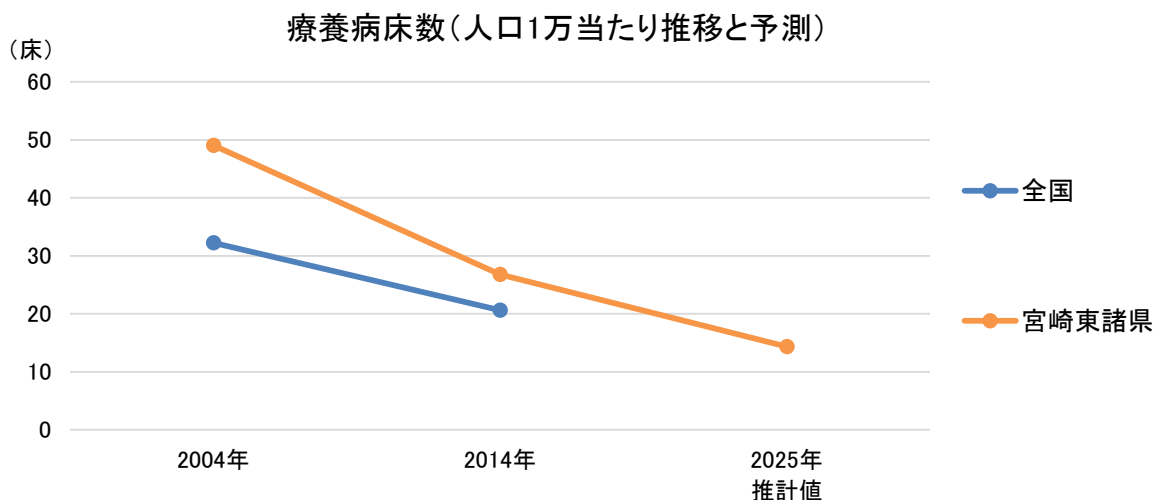
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が5018床(人口1万人当たり118(全国平均84)偏差値62)であったが、2014年に4718床(人口1万人当たり110(全国平均79)偏差値62)と、300床の減少、率にして6%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には4388床(2025年の推計人口1万人当たり106)になることが予想される。



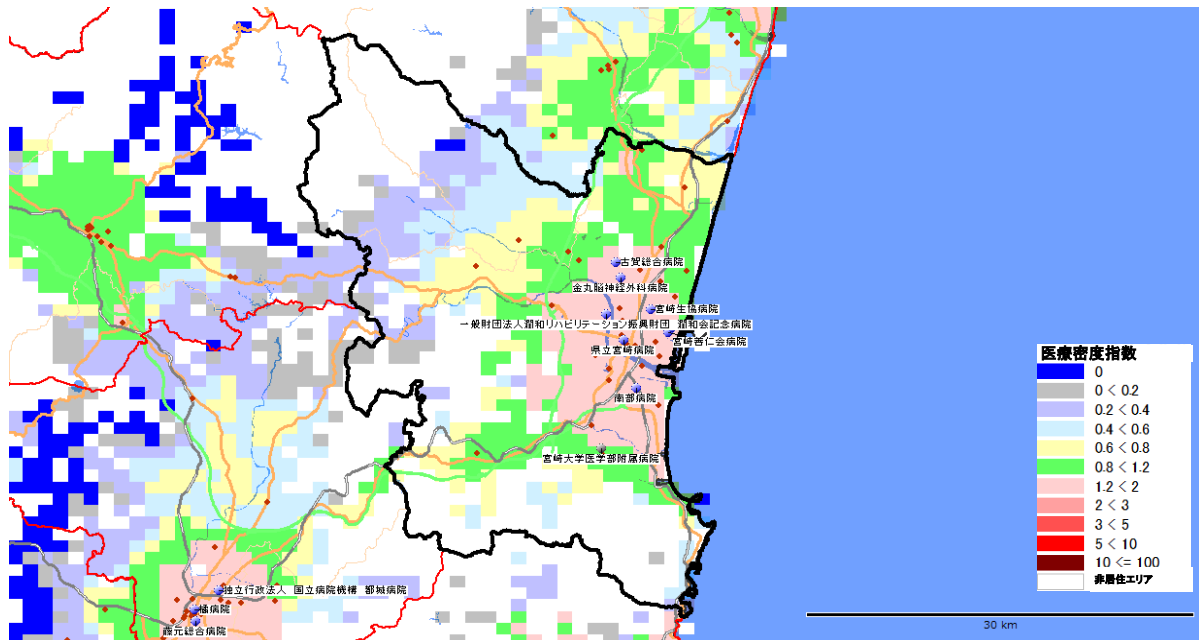
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1852床(75歳以上1000人当たり49(全国平均32)偏差値60)であったが、2014年に1478床(75歳以上1000人当たり27(全国平均21)偏差値55)と、374床の減少、率にして20%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1067床(2025年の推計75歳以上1000人当たり14)になることが予想される。

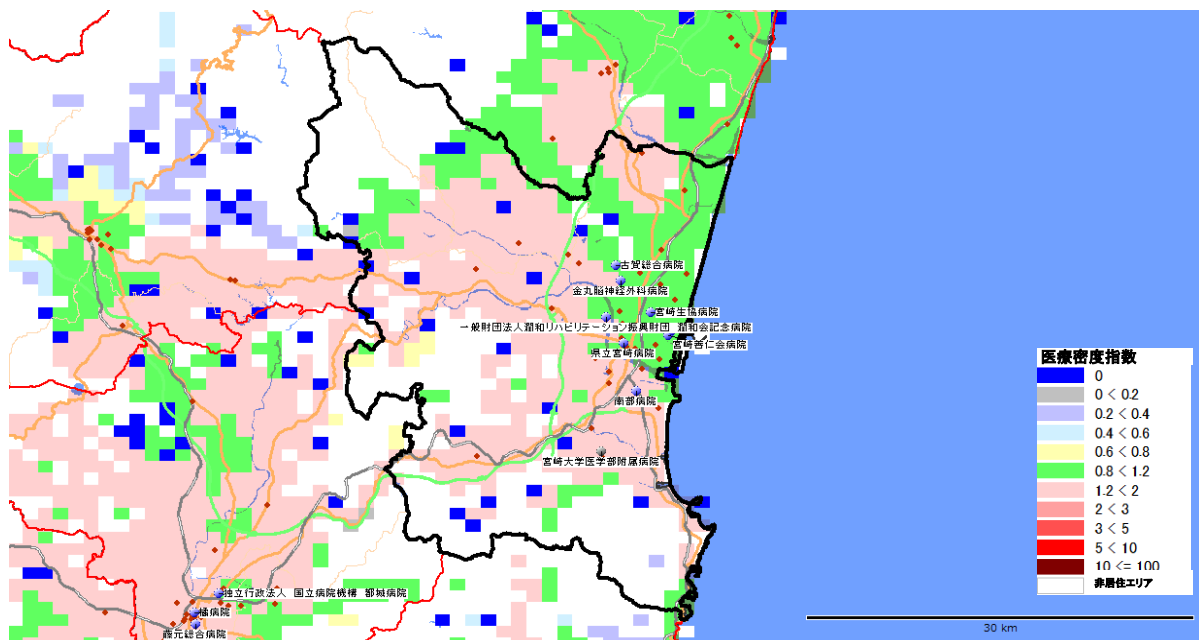


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表45-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表45-1-2 慢性期医療密度指数マップ

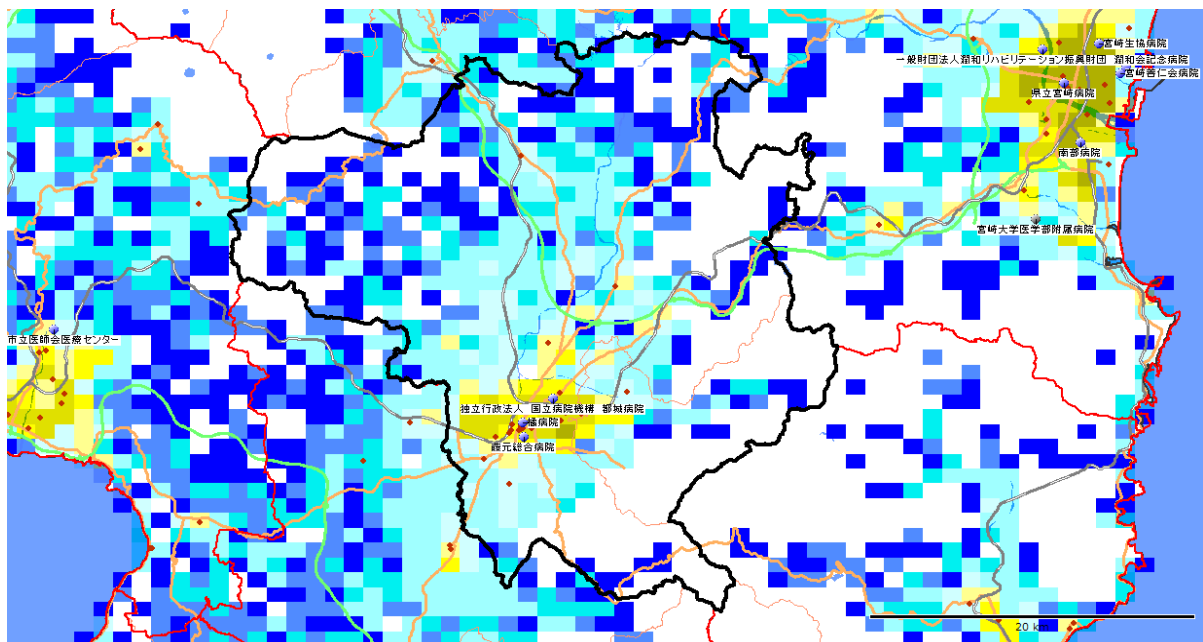




# 45-2. みやこのじょうきたもろかた 都城北諸県医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [都城市](#) [三股町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群  
一般病院

## （都城北諸県医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 都城北諸県(都城市)は、総人口約191千人(2015年推計)、面積763km<sup>2</sup>、人口密度は250人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 都城北諸県の総人口は2025年に180千人へと減少し(2015年比-6%)、2040年に161千人へと減少する(2025年比-11%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の29千人が、2025年にかけて33千人へと増加し(2015年比+14%)、2040年には34千人へと増加する(2025年比+3%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 都城北諸県の一人当たり医療費(国保)は339千円(偏差値55)、介護給付費は296千円(偏差値61)であり、医療費はやや高く、介護給付費は高い。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 都城北諸県の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.1、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.79で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が45(病院医師数47、診療所医師数42)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は73と非常に多い。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は61で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は62と多い。都城北諸県には、年間全身麻酔件数が1000例以上の国立病院機構都城医療センター(Ⅲ群)、500例以上の藤元総合病院(Ⅲ群)がある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は47と療養病床数はやや少ない。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値53とやや多く、回復期病床数は偏差値57と多い。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は72で精神病床数は非常に多い。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は45で診療所数はやや少ない。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 都城北諸県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2704人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1612床(偏差値47)、高齢者住宅等が1092床(偏差値49)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2383人(75歳以上1000人当たりの偏差値55)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設39、特別養護老人ホーム54、介護療養型医療施設43、有料老人ホーム42、軽費ホーム53、グループホーム56、サ高住53である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値40と少なく、在宅療養支援病院は偏差値55とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値52と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、375人(75歳以上1000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

**\*介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-29%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

都城北諸県医療圏の総人口は、2005年195500人が、2015年に190603人と3%減少し、2025年の人口が180094人と予測され、2005年→2025年の間に8%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に7%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の増加が予測される。

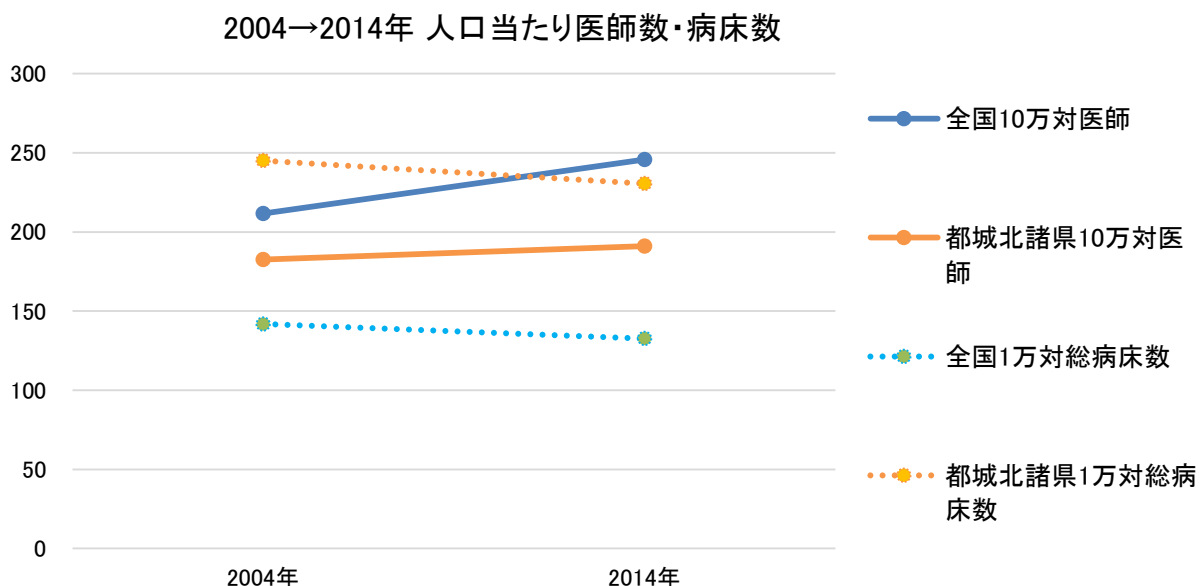
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が30(人口10万人当たり15.3病院(全国平均7.1)偏差値71)であったが、2014年に28(人口10万人当たり14.7病院(全国平均6.7)偏差値69)となり、10年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が146(人口10万人当たり75診療所(全国平均76)偏差値49)であったが、2014年に133(人口10万人当たり70診療所(全国平均79)偏差値45)と、13診療所が減少した。

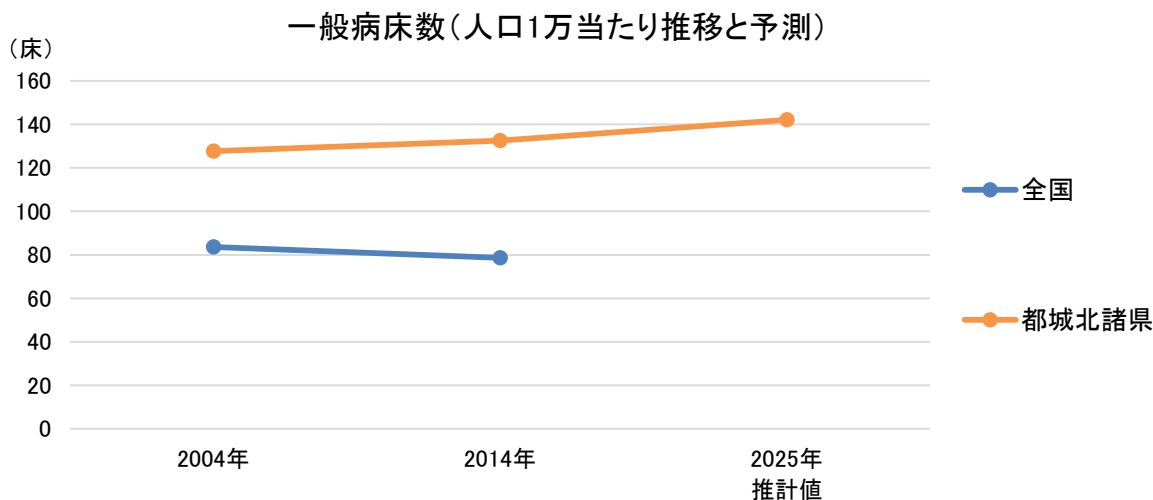
2004年の総病床数が4793床(人口1万人当たり245(全国平均142)偏差値68)であったが、2014年に4395床(人口1万人当たり231(全国平均133)偏差値67)と、398床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が357人(人口10万人当たり183人(全国平均212人)偏差値47)であったが、2014年に364人(人口10万人当たり191人(全国平均246人)偏差値44)と、7人の増加、率にして2%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



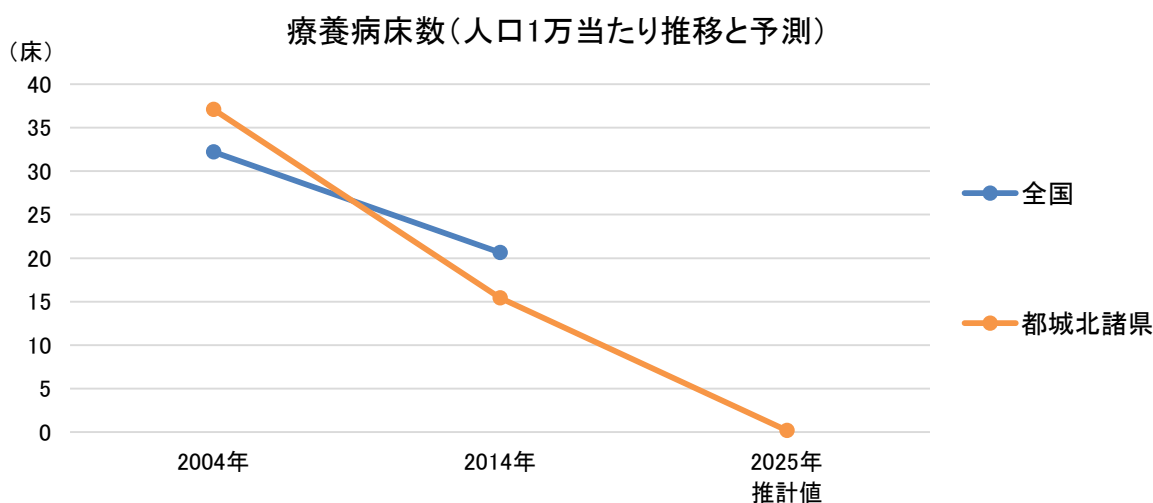
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2495床(人口1万人当たり128(全国平均84)偏差値66)であったが、2014年に2526床(人口1万人当たり133(全国平均79)偏差値70)と、31床の増加、率にして1%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には2560床(2025年の推計人口1万人当たり142)になることが予想される。



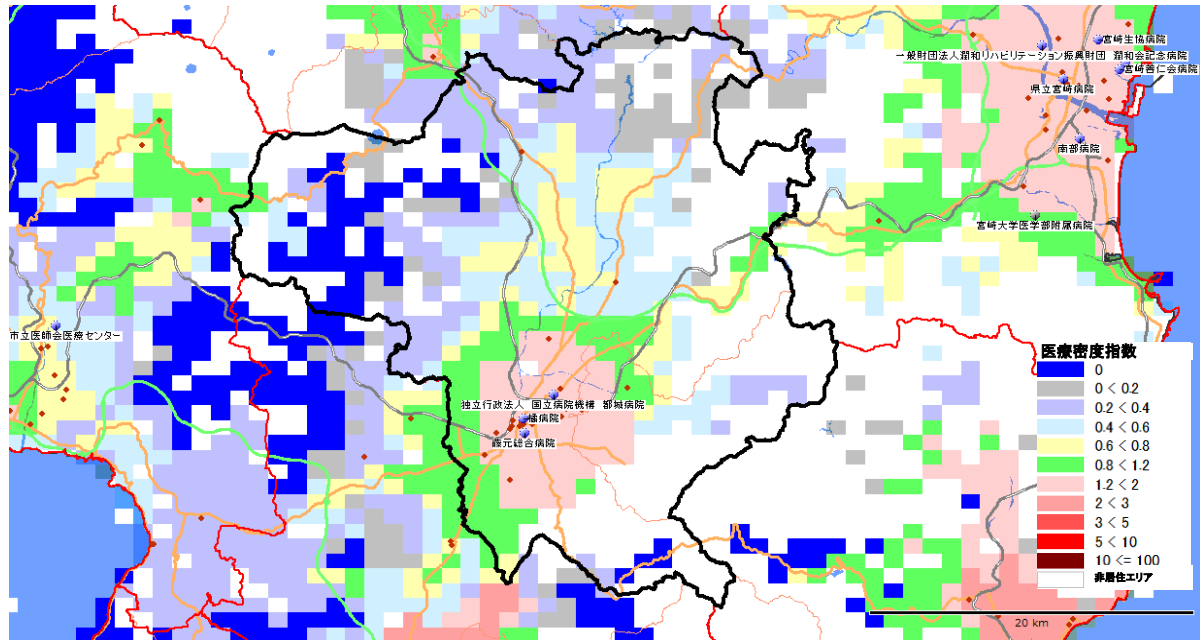
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が852床(75歳以上1000人当たり37(全国平均32)偏差値53)であったが、2014年に449床(75歳以上1000人当たり15(全国平均21)偏差値46)と、403床の減少、率にして47%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には6床(2025年の推計75歳以上1000人当たり0)になることが予想される。

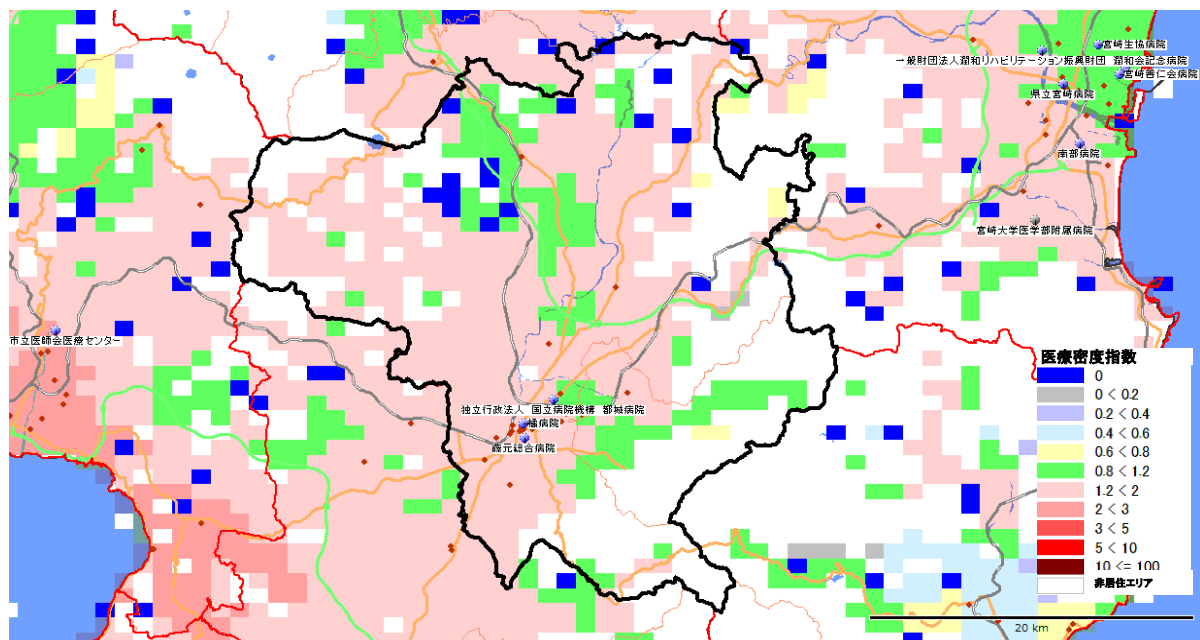


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表45-2-1 急性期医療密度指数マップ



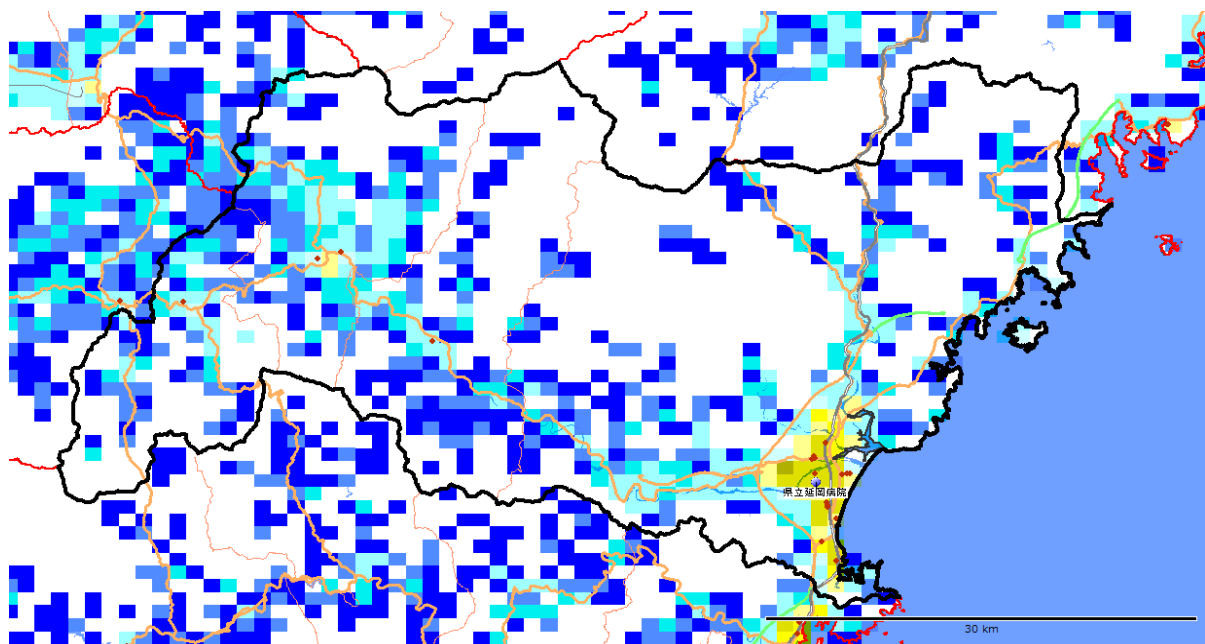
図表45-2-2 慢性期医療密度指数マップ



# 45-3. のべおかにしうすき 延岡西臼杵医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [延岡市](#)      [高千穂町](#)      [日之影町](#)      [五ヶ瀬町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

## (延岡西臼杵医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 延岡西臼杵(延岡市)は、総人口約147千人(2015年推計)、面積1555km<sup>2</sup>、人口密度は95人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 延岡西臼杵の総人口は2025年に132千人へと減少し(2015年比-10%)、2040年に109千人へと減少する(2025年比-17%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の26千人が、2025年にかけて29千人へと増加し(2015年比+12%)、2040年には27千人へと減少する(2025年比-7%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 延岡西臼杵の一人当たり医療費(国保)は313千円(偏差値49)、介護給付費は285千円(偏差値59)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 延岡西臼杵の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.06、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は2.06で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が42(病院医師数42、診療所医師数42)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は67と非常に多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は56で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は40と少ない。延岡西臼杵には、年間全身麻酔件数が1000例以上の県立延岡病院(Ⅲ群・救命)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は55と療養病床数はやや多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値53とやや多く、回復期病床数は偏差値61と多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は67で精神病床数は非常に多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は42で診療所数は少ない。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 延岡西臼杵の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2246人(75歳以上1000人当たりの偏差値42)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1577床(偏差値51)、高齢者住宅等が669床(偏差値41)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1734人(75歳以上1000人当たりの偏差値41)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設47、特別養護老人ホーム49、介護療養型医療施設59、有料老人ホーム45、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム48、サ高住40である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値40と少なく、在宅療養支援病院は偏差値51と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値43と少ない。介護職員(在宅)の合計は、333人(75歳以上1000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

\*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-9%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

## 2. 推移と将来推計

## 【人口と医療需要】

延岡西臼杵医療圏の総人口は、2005年159803人が、2015年に146979人と8%減少し、2025年の人口が132232人と予測され、2005年→2025年の間に17%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に4%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の減少が予測される。

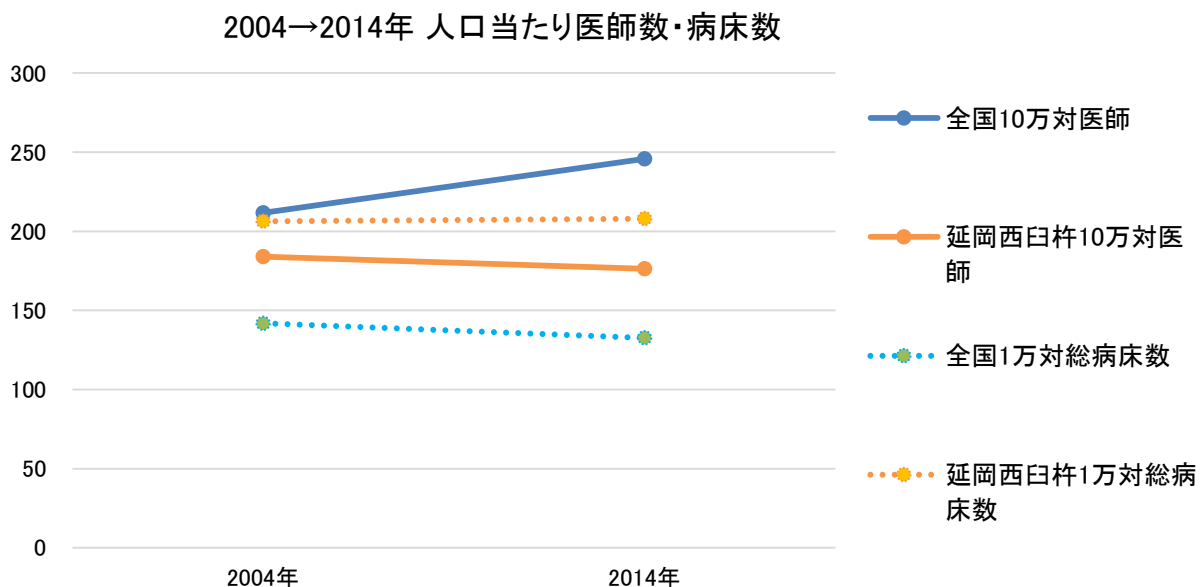
## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が21(人口10万人当たり13.1病院(全国平均7.1)偏差値66)であったが、2014年に20(人口10万人当たり13.6病院(全国平均6.7)偏差値67)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が102(人口10万人当たり64診療所(全国平均76)偏差値44)であったが、2014年に95(人口10万人当たり65診療所(全国平均79)偏差値42)と、7診療所が減少した。

2004年の総病床数が3297床(人口1万人当たり206(全国平均142)偏差値62)であったが、2014年に3056床(人口1万人当たり208(全国平均133)偏差値63)と、241床の減少、率にして7%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

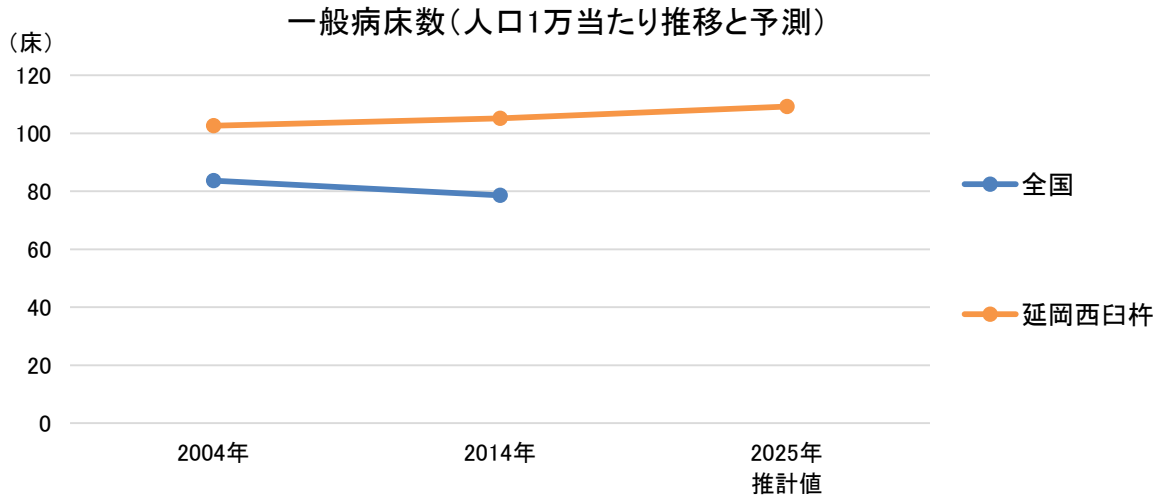
2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が294人(人口10万人当たり184人(全国平均212人)偏差値47)であったが、2014年に259人(人口10万人当たり176人(全国平均246人)偏差値43)と、35人の減少、率にして12%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。





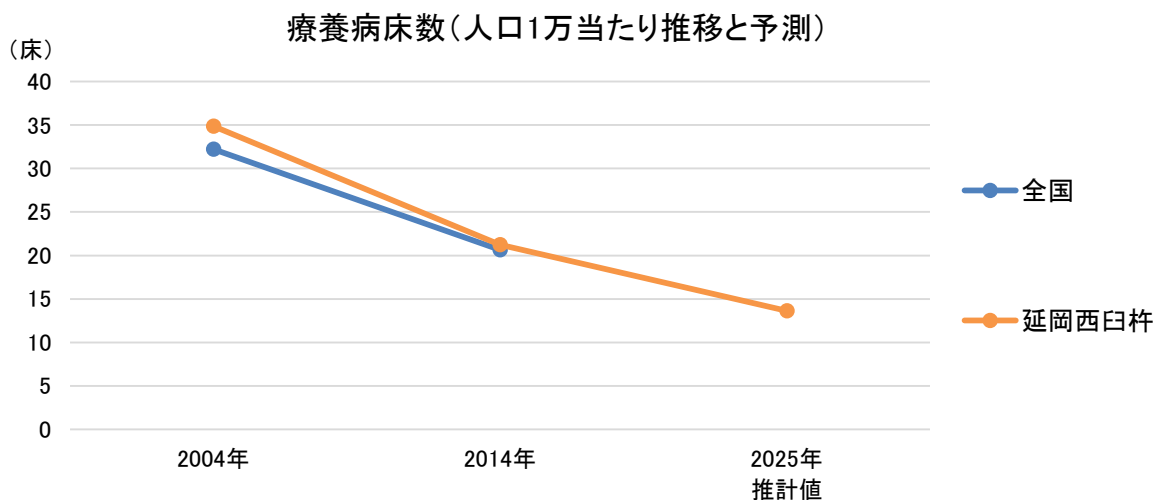
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1639床(人口1万人当たり103(全国平均84)偏差値57)であったが、2014年に1546床(人口1万人当たり105(全国平均79)偏差値60)と、93床の減少、率にして6%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1444床(2025年の推計人口1万人当たり109)になることが予想される。



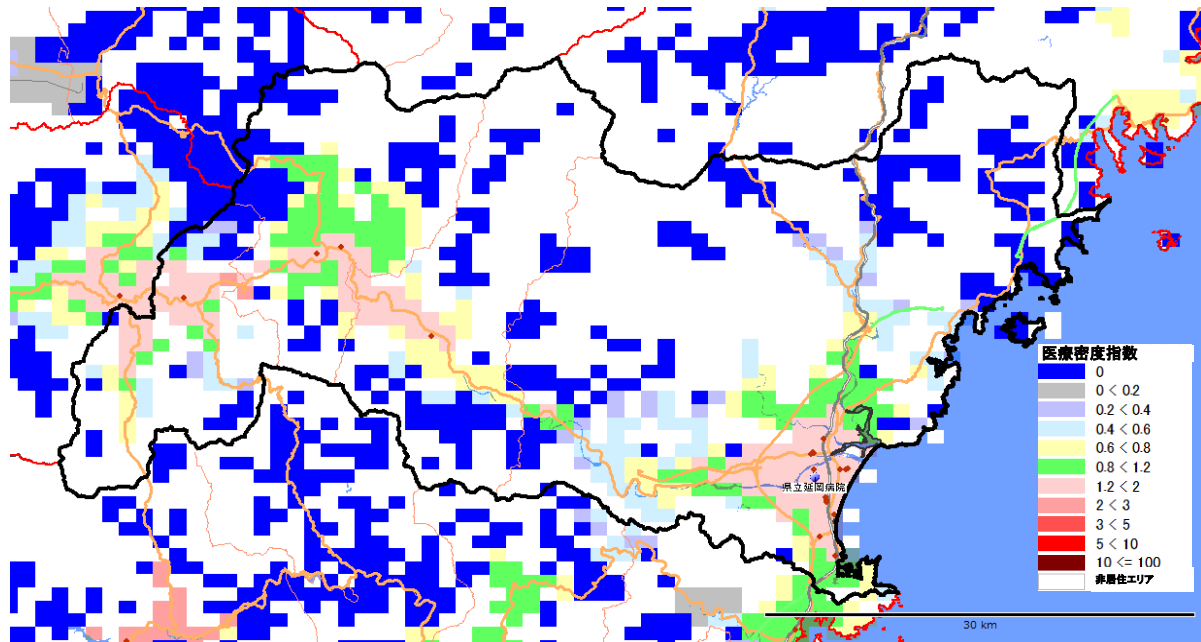
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が701床(75歳以上1000人当たり35(全国平均32)偏差値51)であったが、2014年に553床(75歳以上1000人当たり21(全国平均21)偏差値51)と、148床の減少、率にして21%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には390床(2025年の推計75歳以上1000人当たり14)になることが予想される。

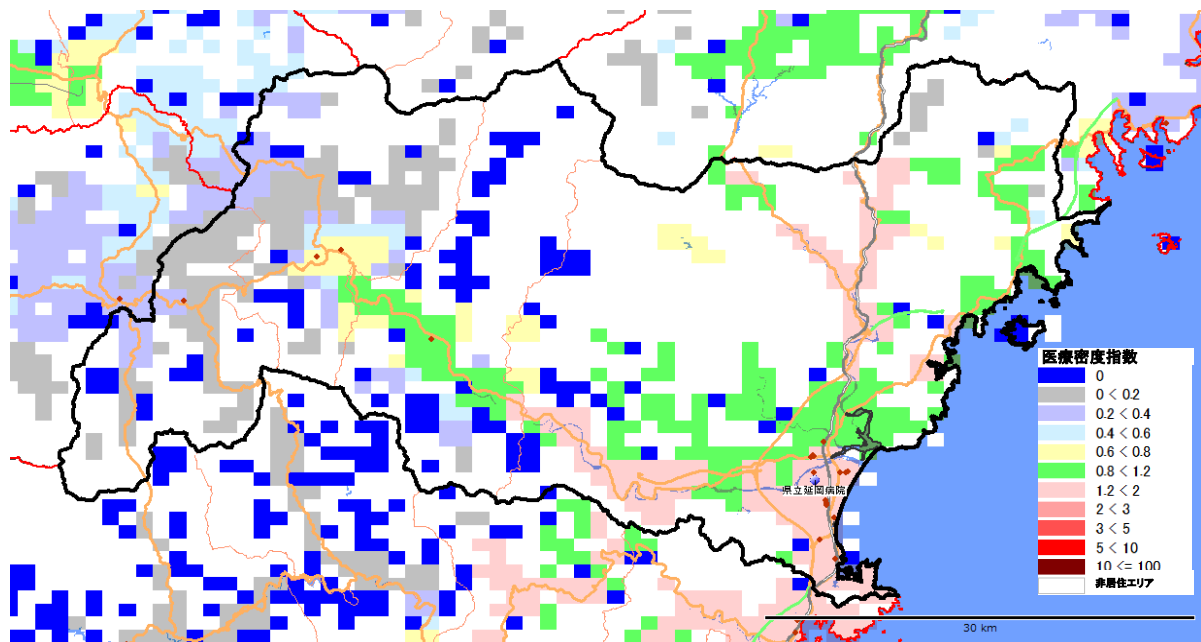


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表45-3-1 急性期医療密度指数マップ



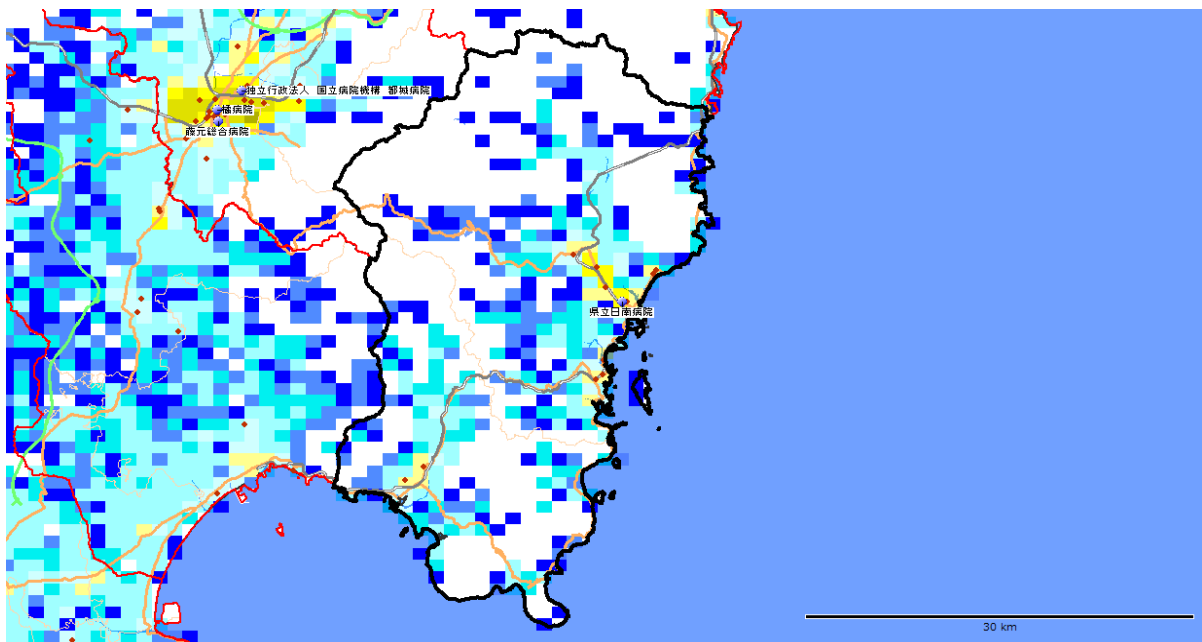
図表45-3-2 慢性期医療密度指数マップ



# 45-4. にちなんくしま 日南串間医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [日南市](#) [串間市](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群  
一般病院

## （日南串間医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 日南串間(日南市)は、総人口約73千人(2015年推計)、面積831km<sup>2</sup>、人口密度は88人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 日南串間の総人口は2025年に64千人へと減少し(2015年比-12%)、2040年に50千人へと減少する(2025年比-22%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の15千人が、2025年にかけて15千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年には14千人へと減少する(2025年比-7%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 日南串間の一人当たり医療費(国保)は317千円(偏差値50)、介護給付費は285千円(偏差値58)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は高い。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 日南串間の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.58、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.58で、急性期の医療も慢性期の医療もかなり余裕がある。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が48(病院医師数50、診療所医師数44)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は69と非常に多い。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は66で、一般病床は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は38と少ない。日南串間には、年間全身麻酔件数が500例以上の県立日南病院(Ⅲ群)がある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は64と療養病床数は多い。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値53とやや多く、回復期病床数は偏差値50と全国平均レベルである。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は80で精神病床数は非常に多い。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は55で診療所数はやや多い。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 日南串間の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1369人(75歳以上1000人当たりの偏差値45)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1074床(偏差値60)、高齢者住宅等が295床(偏差値37)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1055人(75歳以上1000人当たりの偏差値45)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設52、特別養護老人ホーム53、介護療養型医療施設70、有料老人ホーム45、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム41、サ高住38である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値38と少なく、在宅療養支援病院は偏差値60と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値29と非常に少ない。介護職員(在宅)の合計は、185人(75歳以上1000人当たりの偏差値48)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

**\*介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-1%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

日南串間医療圏の総人口は、2005年83032人が、2015年に73242人と12%減少し、2025年の人口が63662人と予測され、2005年→2025年の間に23%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に1%減少し、2015年から2025年にかけて5%程度の減少が予測される。

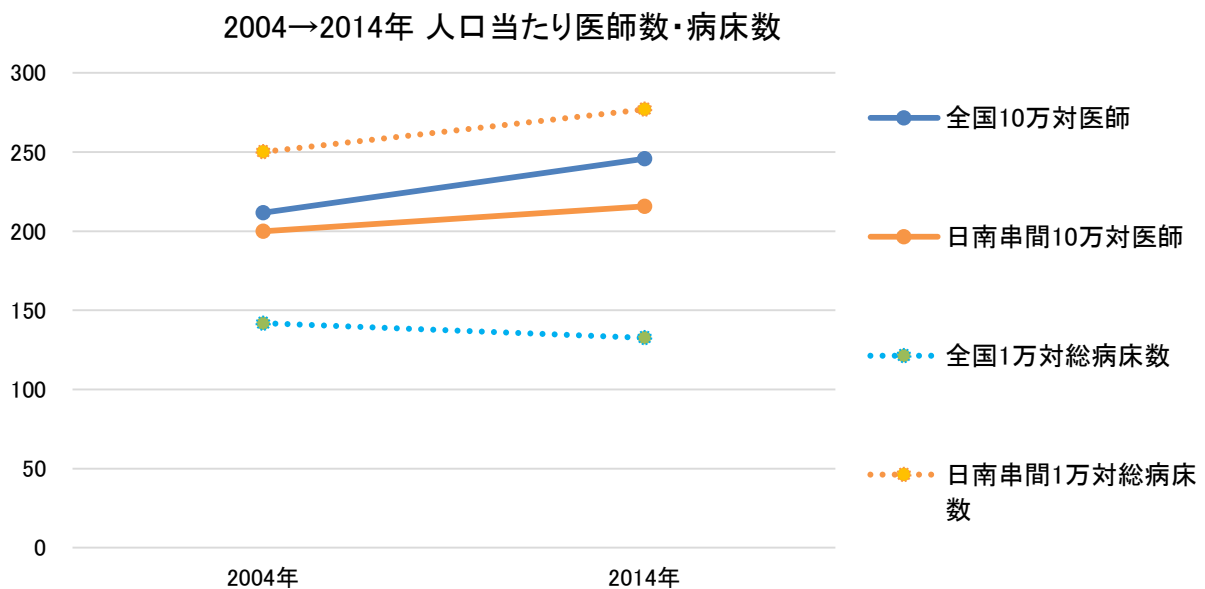
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が12(人口10万人当たり14.5病院(全国平均7.1)偏差値69)であったが、2014年に12(人口10万人当たり16.4病院(全国平均6.7)偏差値74)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が66(人口10万人当たり79診療所(全国平均76)偏差値52)であったが、2014年に65(人口10万人当たり89診療所(全国平均79)偏差値55)と、1診療所が減少した。

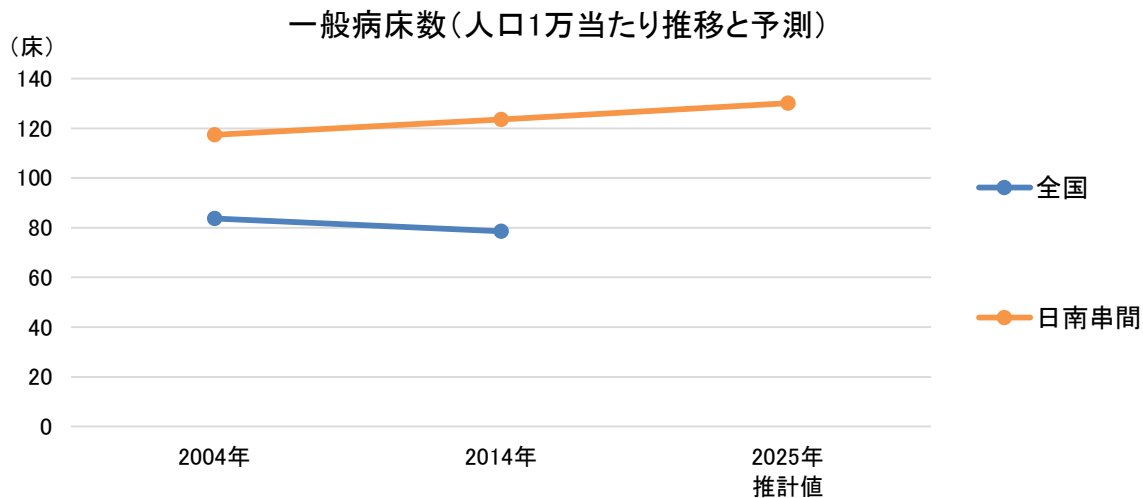
2004年の総病床数が2077床(人口1万人当たり250(全国平均142)偏差値69)であったが、2014年に2029床(人口1万人当たり277(全国平均133)偏差値76)と、48床の減少、率にして2%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が166人(人口10万人当たり200人(全国平均212人)偏差値49)であったが、2014年に158人(人口10万人当たり216人(全国平均246人)偏差値47)と、8人の減少、率にして5%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



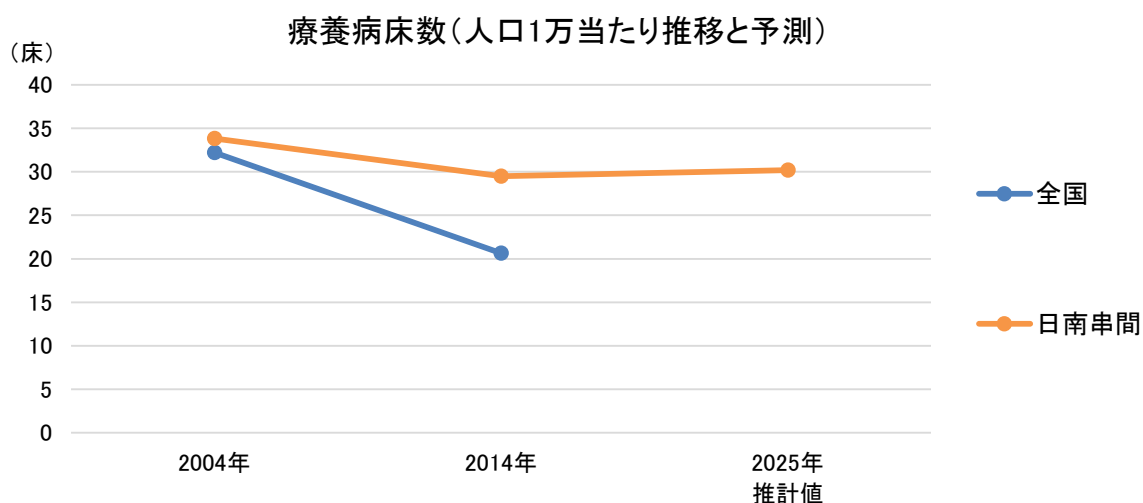
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が975床(人口1万人当たり117(全国平均84)偏差値62)であったが、2014年に905床(人口1万人当たり124(全国平均79)偏差値66)と、70床の減少、率にして7%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には828床(2025年の推計人口1万人当たり130)になることが予想される。



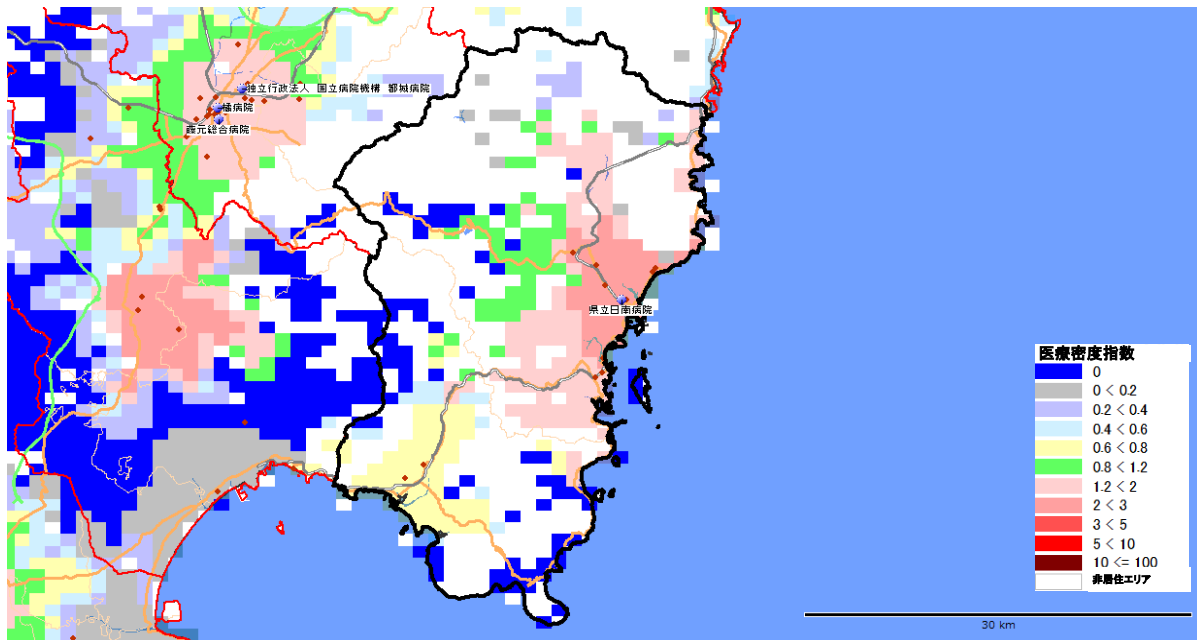
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が419床(75歳以上1000人当たり34(全国平均32)偏差値51)であったが、2014年に441床(75歳以上1000人当たり30(全国平均21)偏差値58)と、22床の増加、率にして5%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には465床(2025年の推計75歳以上1000人当たり30)になることが予想される。

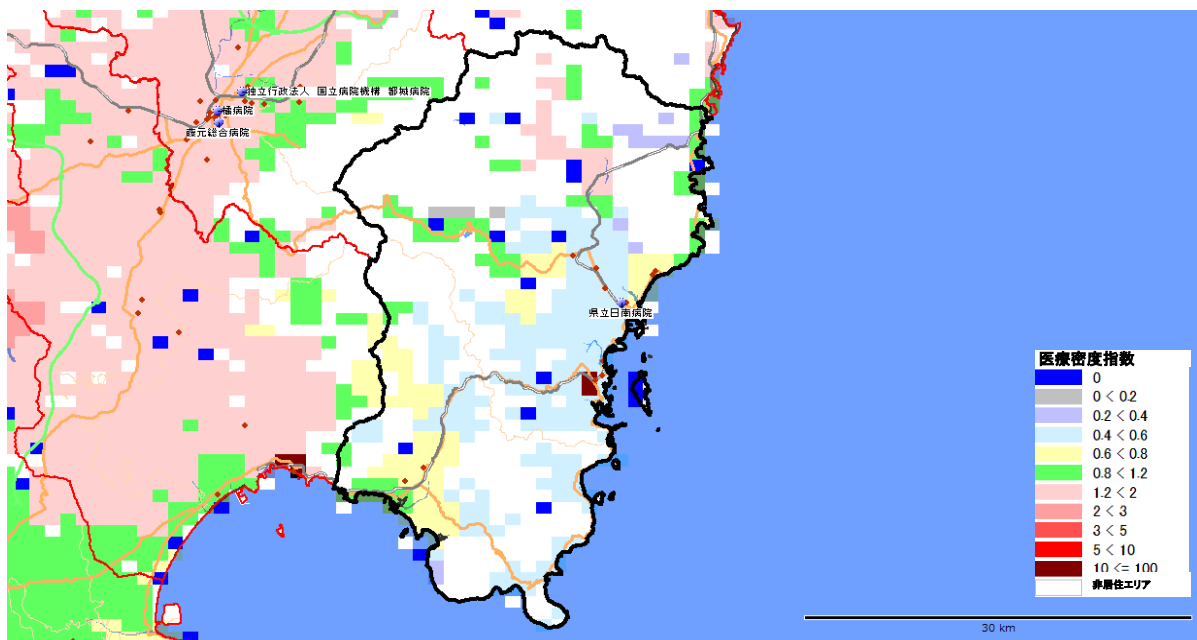


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表45-4-1 急性期医療密度指数マップ



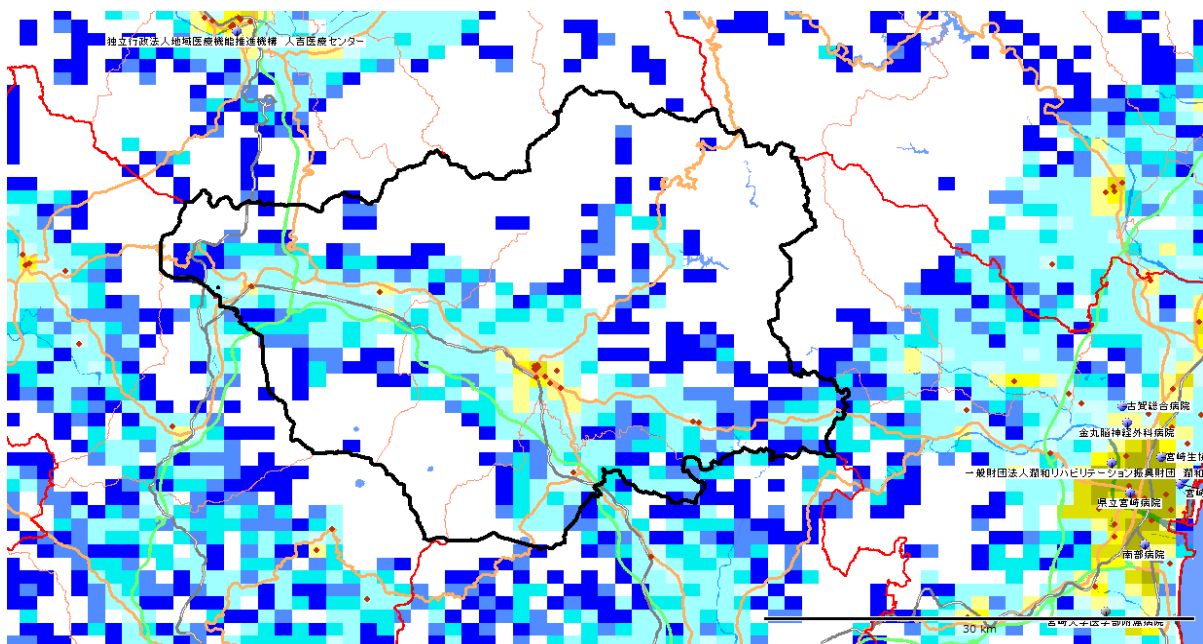
図表45-4-2 慢性期医療密度指数マップ



# 45-5. にしもろ 西諸医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [小林市](#)      [えびの市](#)      [高原町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群  
一般病院



## (西諸医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 西諸(小林市)は、総人口約76千人(2015年推計)、面積931km<sup>2</sup>、人口密度は81人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 西諸の総人口は2025年に67千人へと減少し(2015年比-12%)、2040年に55千人へと減少する(2025年比-18%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の16千人が、2025年にかけて16千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年には16千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 西諸の一人当たり医療費(国保)は404千円(偏差値71)、介護給付費は302千円(偏差値63)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 西諸の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.72、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.23で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は充実している。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が45(病院医師数44、診療所医師数48)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は少ない。総看護師数の偏差値は67と非常に多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は53で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は38と少ない。西諸には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は63と療養病床数は多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値55とやや多く、回復期病床数は偏差値67と非常に多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は64で精神病床数は多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は49で診療所数は全国平均レベルである。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 西諸の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1411人(75歳以上1000人当たりの偏差値45)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が930床(偏差値50)、高齢者住宅等が481床(偏差値44)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1249人(75歳以上1000人当たりの偏差値53)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設43、特別養護老人ホーム47、介護療養型医療施設68、有料老人ホーム42、軽費ホーム53、グループホーム70、サ高住32である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値45とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値59と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値46とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、140人(75歳以上1000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は+1%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

## 2. 推移と将来推計

## 【人口と医療需要】

西諸医療圏の総人口は、2005年83522人が、2015年に75776人と9%減少し、2025年の人口が67147人と予測され、2005年→2025年の間に20%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に2%増加し、2015年から2025年にかけて3%程度の減少が予測される。

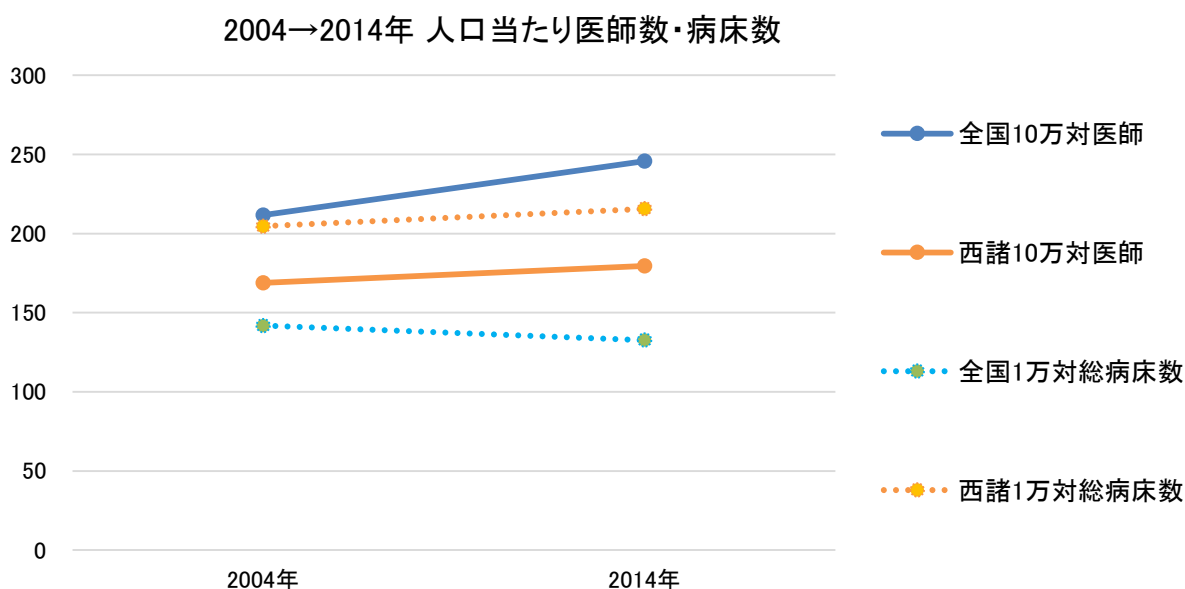
## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が18(人口10万人当たり21.6病院(全国平均7.1)偏差値88)であったが、2014年に16(人口10万人当たり21.1病院(全国平均6.7)偏差値85)となり、10年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が61(人口10万人当たり73診療所(全国平均76)偏差値49)であったが、2014年に58(人口10万人当たり77診療所(全国平均79)偏差値49)と、3診療所が減少した。

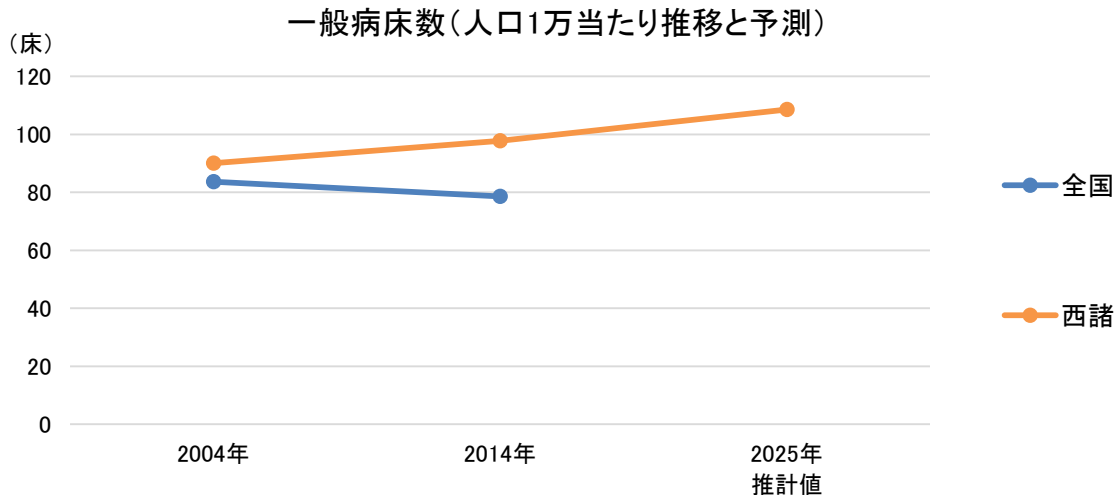
2004年の総病床数が1709床(人口1万人当たり205(全国平均142)偏差値61)であったが、2014年に1634床(人口1万人当たり216(全国平均133)偏差値65)と、75床の減少、率にして4%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が141人(人口10万人当たり169人(全国平均212人)偏差値45)であったが、2014年に136人(人口10万人当たり179人(全国平均246人)偏差値43)と、5人の減少、率にして4%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



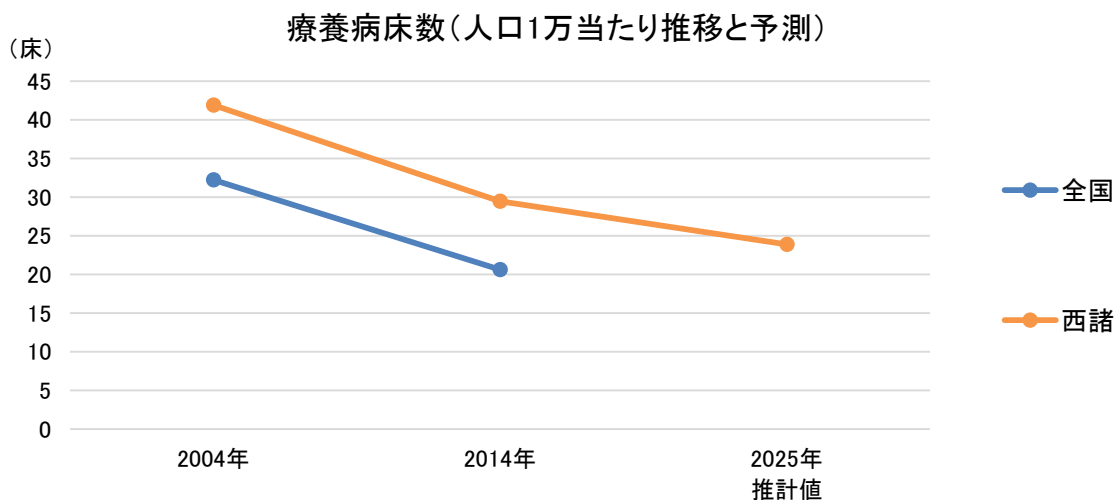
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が752床(人口1万人当たり90(全国平均84)偏差値52)であったが、2014年に741床(人口1万人当たり98(全国平均79)偏差値57)と、11床の減少、率にして1%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には729床(2025年の推計人口1万人当たり109)になることが予想される。



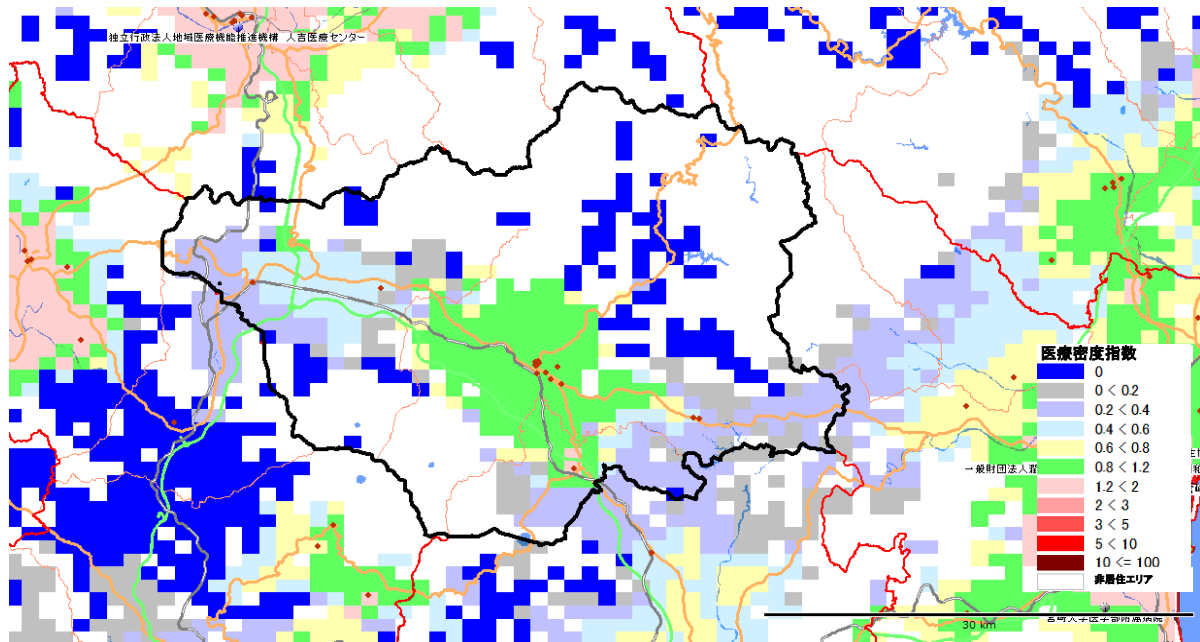
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が522床(75歳以上1000人当たり42(全国平均32)偏差値55)であったが、2014年に458床(75歳以上1000人当たり29(全国平均21)偏差値58)と、64床の減少、率にして12%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には388床(2025年の推計75歳以上1000人当たり24)になることが予想される。

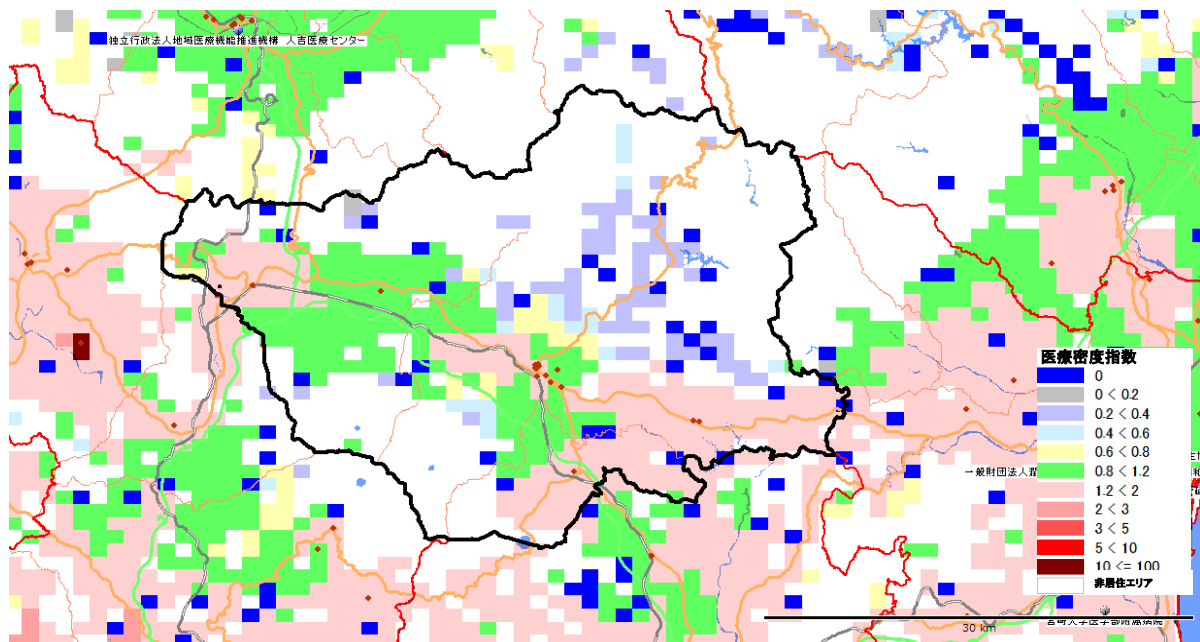


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表45-5-1 急性期医療密度指数マップ



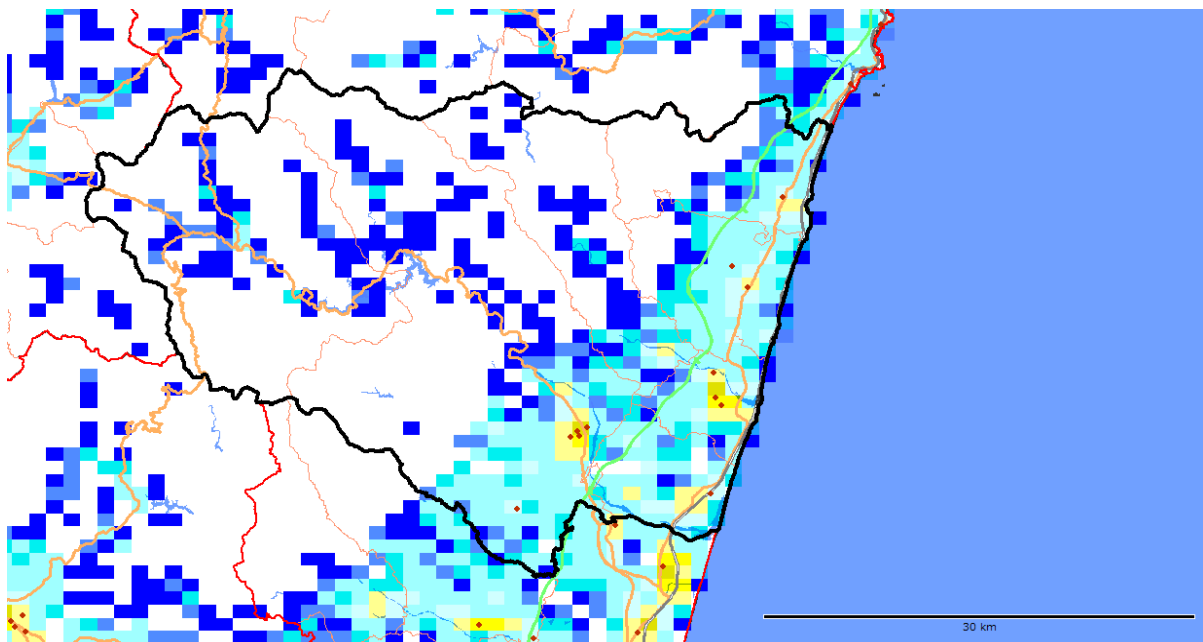
図表45-5-2 慢性期医療密度指数マップ



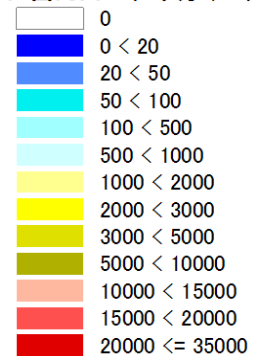
# 45-6. さいとこゆ 西都児湯医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [西都市](#) [高鍋町](#) [新富町](#) [西米良村](#)  
[木城町](#) [川南町](#) [都農町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

## （西都児湯医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 西都児湯（西都市）は、総人口約103千人（2015年推計）、面積1154km<sup>2</sup>、人口密度は89人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 西都児湯の総人口は2025年に94千人へと減少し（2015年比-9%）、2040年に78千人へと減少する（2025年比-17%）ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の17千人が、2025年にかけて20千人へと増加し（2015年比+18%）、2040年には19千人へと減少する（2025年比-5%）ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 西都児湯の一人当たり医療費（国保）は348千円（偏差値57）、介護給付費は256千円（偏差値51）であり、医療費は高く、介護給付費は全国平均レベルである。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 西都児湯の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.87、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.51で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が38（病院医師数38、診療所医師数42）と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は47とやや少ない。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は52で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は32と非常に少ない。西都児湯には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は53と療養病床数はやや多い。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値48と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値49と全国平均レベルである。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は45で精神病床数はやや少ない。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は50で診療所数は全国平均レベルである。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 西都児湯の総高齢者施設・住宅定員数（介護療養病床含む）合計は、1413人（75歳以上1000人当たりの偏差値41）と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1027床（偏差値51）、高齢者住宅等が386床（偏差値39）である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員（介護施設等）の合計は、1265人（75歳以上1000人当たりの偏差値49）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設43、特別養護老人ホーム55、介護療養型医療施設49、有料老人ホーム42、軽費ホームなし（偏差値43）、グループホーム56、サ高住35である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値42と少なく、在宅療養支援病院は偏差値49と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値44と少ない。介護職員（在宅）の合計は、159人（75歳以上1000人当たりの偏差値42）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

**\*介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-21%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

西都児湯医療圏の総人口は、2005年111189人が、2015年に102714人と8%減少し、2025年の人口が93518人と予測され、2005年→2025年の間に16%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に4%増加し、2015年から2025年にかけてほぼ増減なしと予測される。

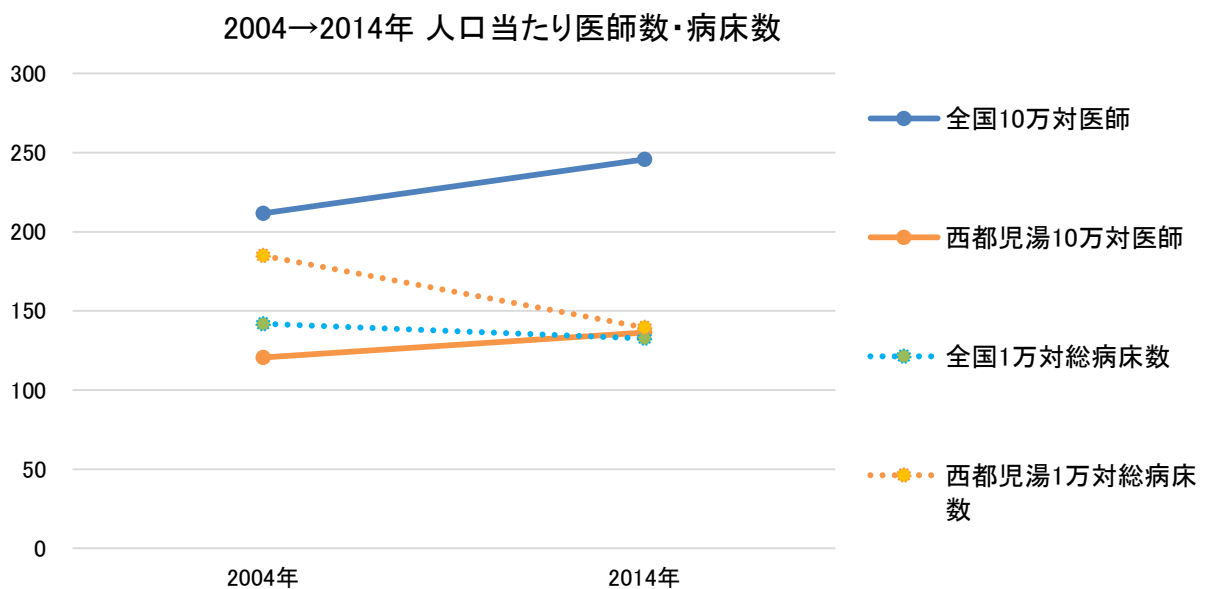
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が12(人口10万人当たり10.8病院(全国平均7.1)偏差値60)であったが、2014年に10(人口10万人当たり9.7病院(全国平均6.7)偏差値57)となり、10年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が78(人口10万人当たり70診療所(全国平均76)偏差値47)であったが、2014年に81(人口10万人当たり79診療所(全国平均79)偏差値50)と、3診療所が増加した。

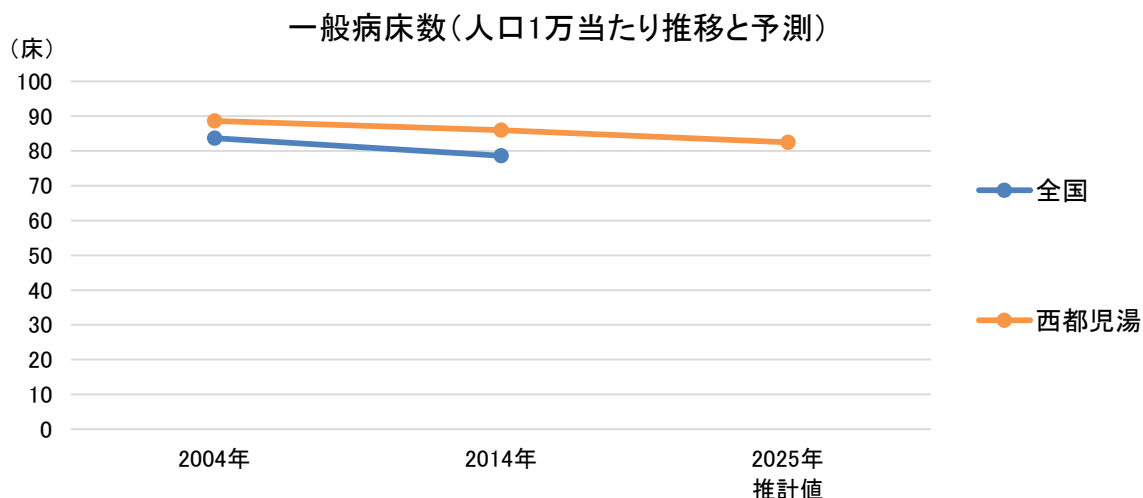
2004年の総病床数が2056床(人口1万人当たり185(全国平均142)偏差値58)であったが、2014年に1433床(人口1万人当たり140(全国平均133)偏差値51)と、623床の減少、率にして30%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が134人(人口10万人当たり121人(全国平均212人)偏差値39)であったが、2014年に140人(人口10万人当たり136人(全国平均246人)偏差値39)と、6人の増加、率にして4%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



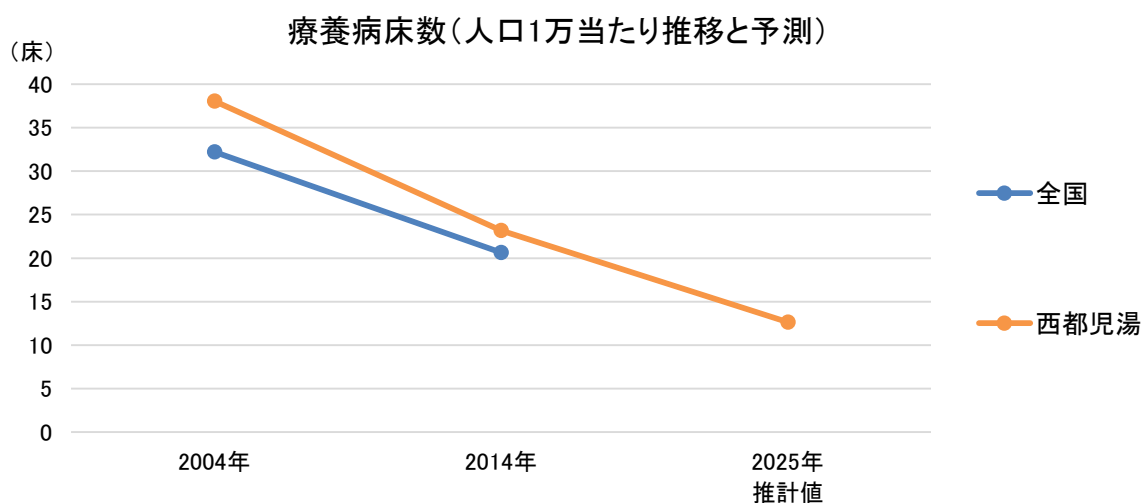
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が985床(人口1万人当たり89(全国平均84)偏差値52)であったが、2014年に883床(人口1万人当たり86(全国平均79)偏差値53)と、102床の減少、率にして10%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には771床(2025年の推計人口1万人当たり82)になることが予想される。



【療養病床の推移と今後の予測】

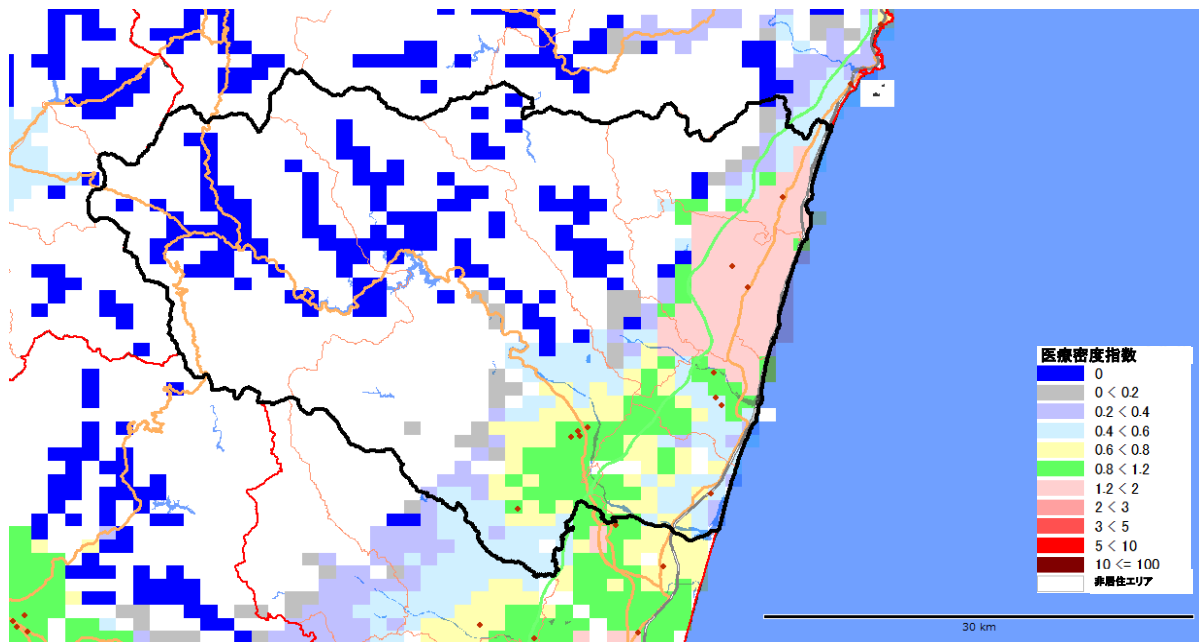
2004年の療養病床(病院+診療所)が518床(75歳以上1000人当たり38(全国平均32)偏差値53)であったが、2014年に391床(75歳以上1000人当たり23(全国平均21)偏差値52)と、127床の減少、率にして25%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には251床(2025年の推計75歳以上1000人当たり13)になることが予想される。



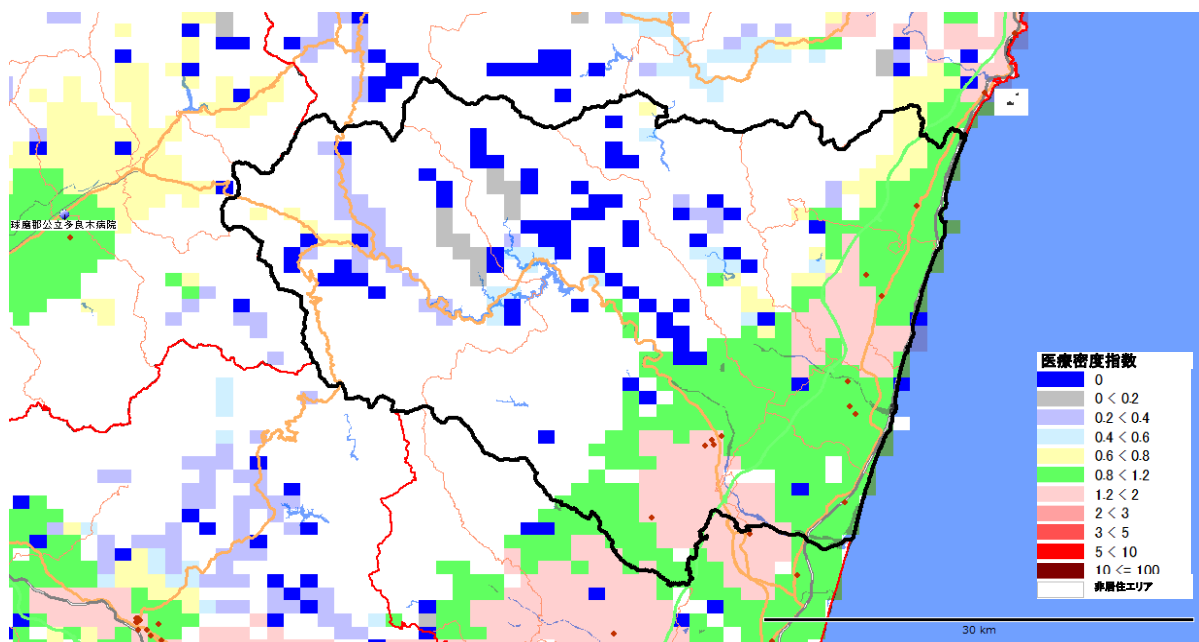


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表45-6-1 急性期医療密度指数マップ



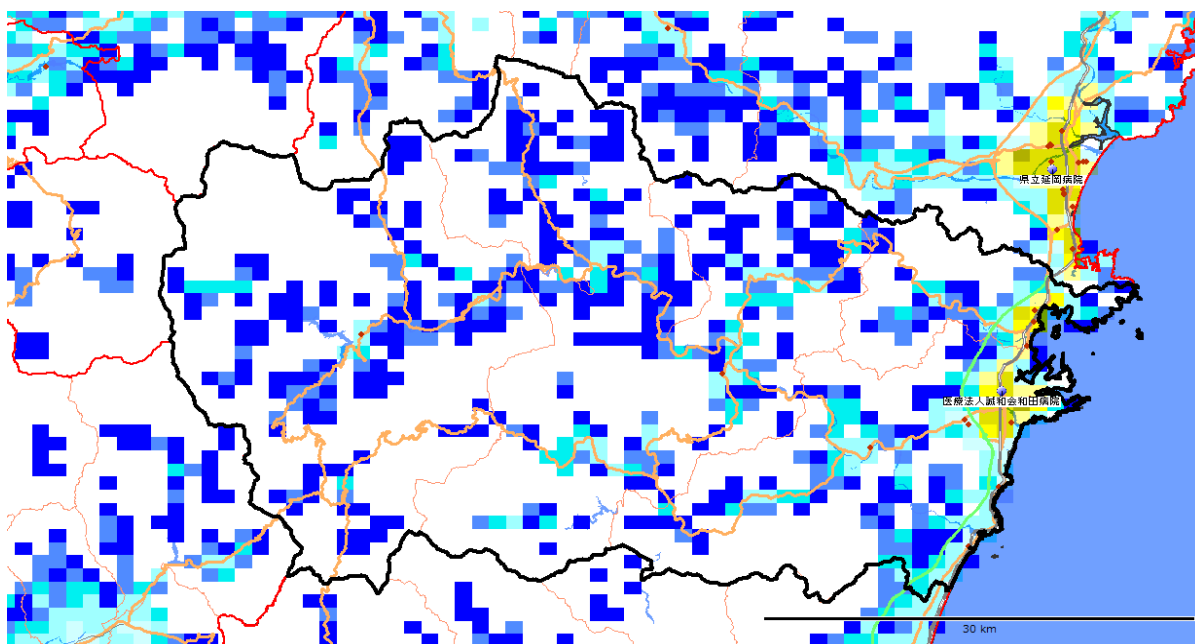
図表45-6-2 慢性期医療密度指数マップ



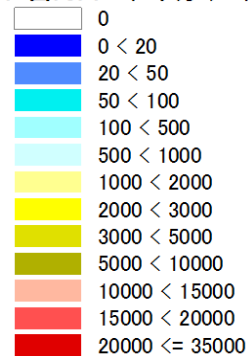
# 45-7. ひゅうが いりごう 日向入郷医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [日向市](#) [門川町](#) [諸塚村](#) [椎葉村](#)  
[美郷町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

## (日向入郷医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

- \*人口、面積など： 日向入郷(日向市)は、総人口約91千人(2015年推計)、面積1630km<sup>2</sup>、人口密度は56人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。
- \*人口の将来予測： 日向入郷の総人口は2025年に84千人へと減少し(2015年比-8%)、2040年に72千人へと減少する(2025年比-14%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の15千人が、2025年にかけて17千人へと増加し(2015年比+13%)、2040年には17千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。
- \*医療費と介護給付費： 日向入郷の一人当たり医療費(国保)は370千円(偏差値62)、介護給付費は246千円(偏差値48)であり、医療費は高く、介護給付費は全国平均レベルである。

## 【医療の現状】

- \*入院医療の充実度： 日向入郷の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.64、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.99で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり余裕がある。
- \*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が41(病院医師数43、診療所医師数40)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は66と非常に多い。
- \*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は43で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は35と少ない。日向入郷には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。
- \*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は59と療養病床数は多い。
- \*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値53とやや多く、回復期病床数は偏差値59と多い。
- \*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は79で精神病床数は非常に多い。
- \*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は43で診療所数は少ない。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

- \*介護施設の現状： 日向入郷の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1280人(75歳以上1000人当たりの偏差値42)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が826床(偏差値47)、高齢者住宅等が454床(偏差値44)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回り、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1153人(75歳以上1000人当たりの偏差値51)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設37、特別養護老人ホーム51、介護療養型医療施設55、有料老人ホーム49、軽費ホーム53、グループホーム56、サ高住32である。

- \*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値32と非常に少なく、在宅療養支援病院は偏差値50と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値55とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、155人(75歳以上1000人当たりの偏差値44)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

- \*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-15%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

日向入郷医療圏の総人口は、2005年95233人が、2015年に90533人と5%減少し、2025年の人口が83559人と予測され、2005年→2025年の間に12%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に7%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の増加が予測される。

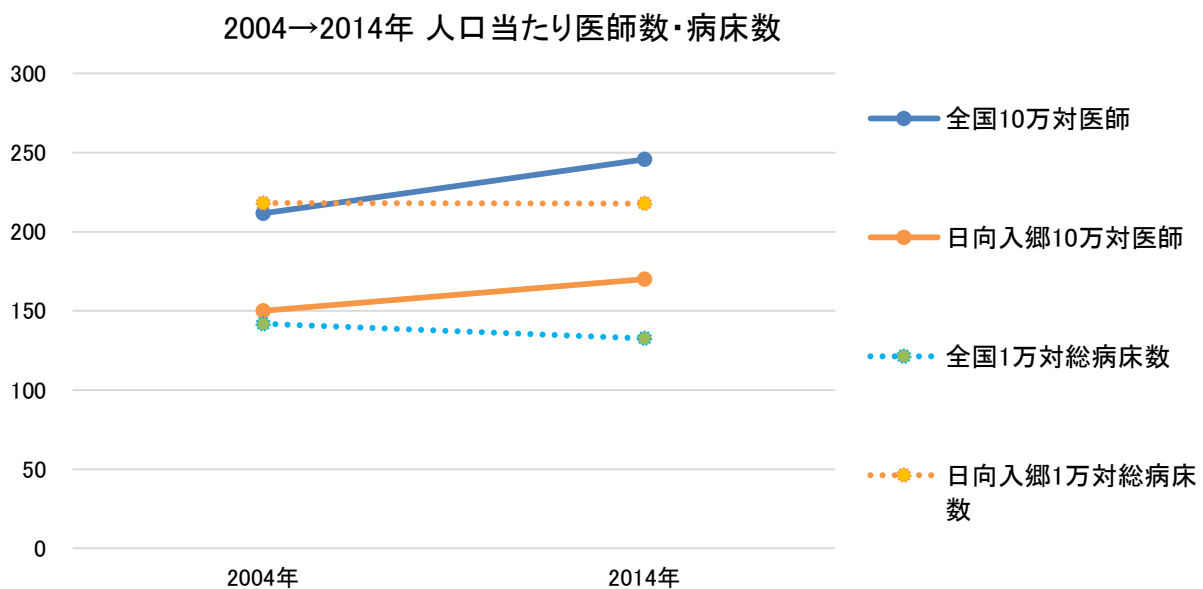
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が15(人口10万人当たり15.8病院(全国平均7.1)偏差値72)であったが、2014年に13(人口10万人当たり14.4病院(全国平均6.7)偏差値69)となり、10年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が56(人口10万人当たり59診療所(全国平均76)偏差値41)であったが、2014年に60(人口10万人当たり66診療所(全国平均79)偏差値43)と、4診療所が増加した。

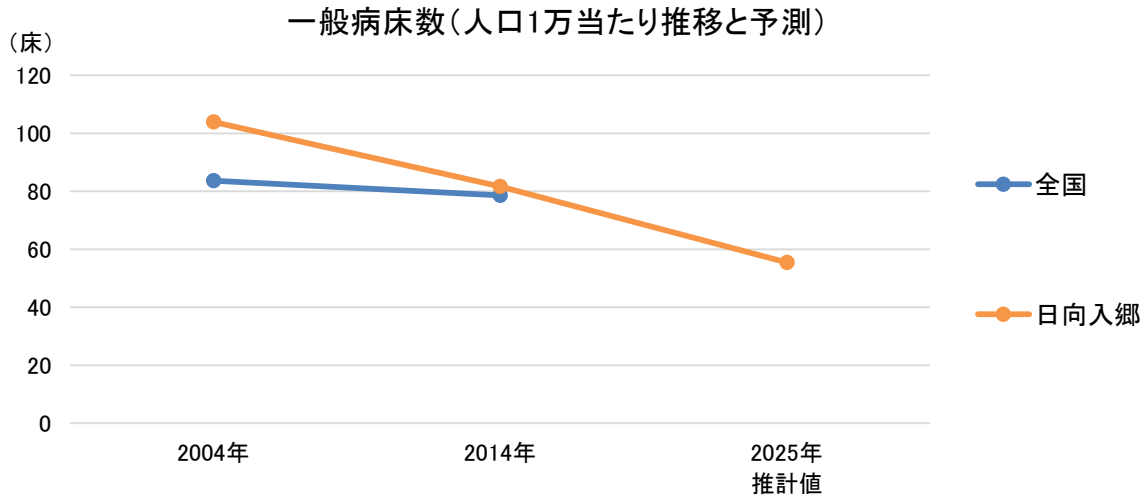
2004年の総病床数が2078床(人口1万人当たり218(全国平均142)偏差値64)であったが、2014年に1972床(人口1万人当たり218(全国平均133)偏差値65)と、106床の減少、率にして5%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が143人(人口10万人当たり150人(全国平均212人)偏差値43)であったが、2014年に154人(人口10万人当たり170人(全国平均246人)偏差値42)と、11人の増加、率にして8%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



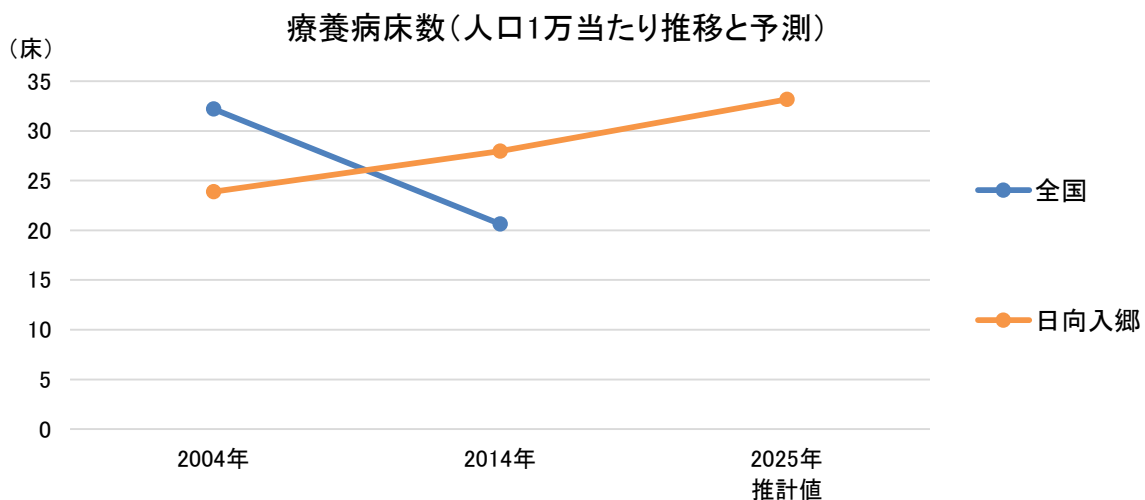
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が990床(人口1万人当たり104(全国平均84)偏差値57)であったが、2014年に739床(人口1万人当たり82(全国平均79)偏差値51)と、251床の減少、率にして25%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には463床(2025年の推計人口1万人当たり55)になることが予想される。



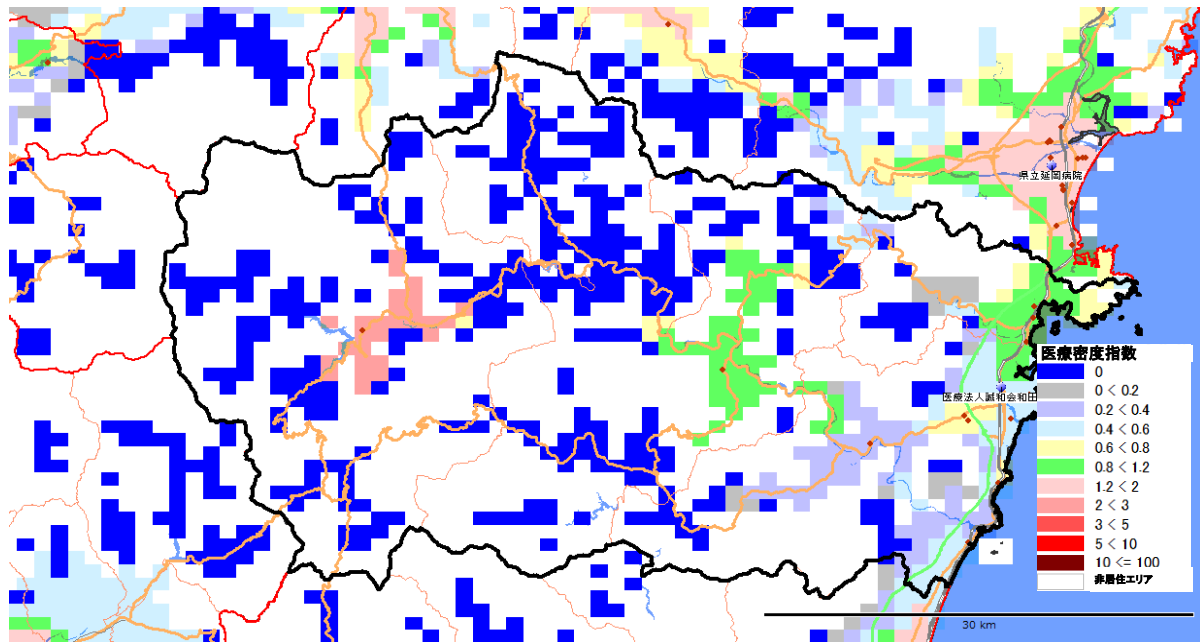
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が270床(75歳以上1000人当たり24(全国平均32)偏差値45)であったが、2014年に415床(75歳以上1000人当たり28(全国平均21)偏差値56)と、145床の増加、率にして54%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には575床(2025年の推計75歳以上1000人当たり33)になることが予想される。

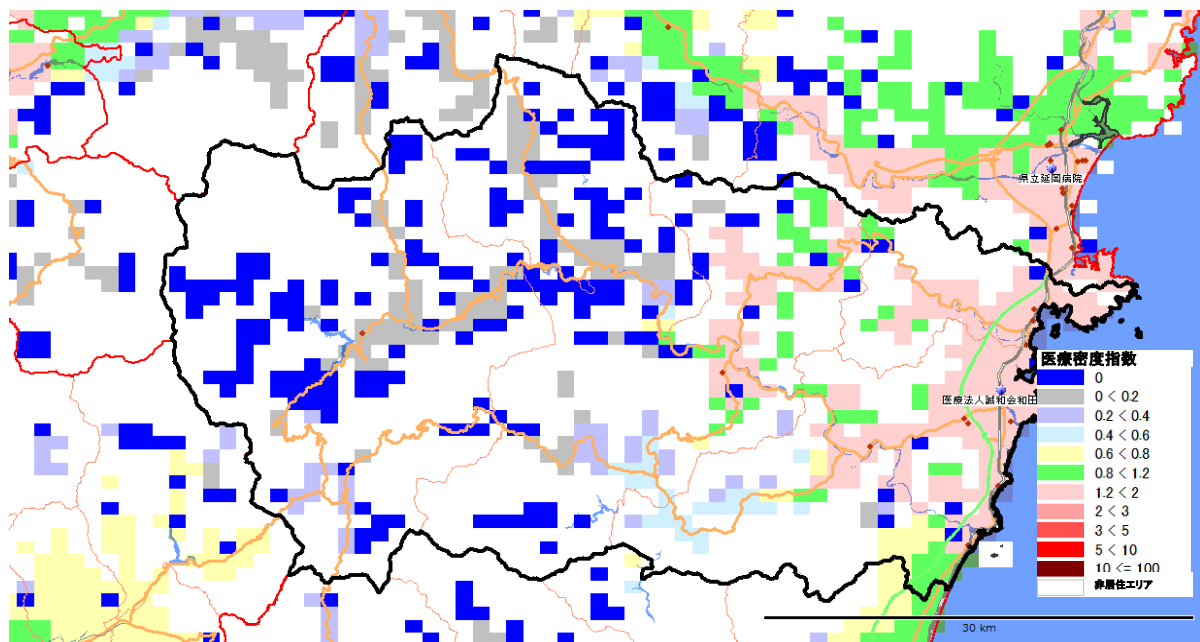


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表45-7-1 急性期医療密度指数マップ



図表45-7-2 慢性期医療密度指数マップ



## 注

<sup>1</sup>1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。  
出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

<sup>2</sup>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。

<sup>3</sup>【医療の現状】で使用した総医師数は、病院医師数(平成26年病院報告(厚生労働省 平成26年10月))と診療所医師数(平成26年医療施設調査(厚生労働省 平成26年10月))の合計。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】で使用した2014年の総医師数は、平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査(厚生労働省 平成26年12月)に基づく病院医師数と診療所医師数の合計。

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2016年の全国平均(99.3床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

<sup>5</sup>急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

<sup>6</sup>日医総研WP no.352「地域の医療提供体制の現状-都道府県別・二次医療圏別データ集(2015年度版)を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

<sup>7</sup>複数医療圏にまたがる広域連合の医療費・介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

<sup>8</sup>近畿厚生局のデータは入手できていないため、合計値には含んでない。人口あたり病床数(全国値)の算出にあたっては、データを手に入れている地域の人口は除いて計算している。

<sup>9</sup>市町村国保の保険者単位のデータしかないため、同一の保険者において複数の二次医療圏をもつ横浜市と川崎市は保険者単位で算出している。

「入院」は、入院診療及び食事療養・生活療養の計である。

「入院外+調剤」は、入院外診療及び調剤の支給の計である。

<sup>10</sup>日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。